

国立国語研究所学術情報リポジトリ

出雲方言アクセント調査報告

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2019-11-29 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.15084/00002419

出雲方言アクセント調査報告

上野 善道*

1 出雲方言のアクセント調査

1. 1 調査と報告書作成の概要

2014年8月に国立国語研究所時空間変異研究系共同研究プロジェクト「消滅危機方言の調査・保存のための総合的研究」（プロジェクトリーダー木部暢子）が4地点で行なった島根県出雲方言調査のうち、アクセント班が担当した部分を本稿で報告する。具体的には、調査をした4地点のすべてのアクセントデータを提示することと、その中の興味深い現象を取り上げてその概要を述べることを目的とする。

調査の情報を(1)に掲げる。ご教示下さった話者の方々に厚く御礼を申し上げる。

(1) 調査情報

地点	話者	調査者
出雲市斐川（ひかわ）町荘原	福間花子氏	上野・松倉昂平・伊藤芳樹
雲南市木次（きすき）町東日登	土江和良氏	上野・松倉昂平・伊藤芳樹
仁多（にた）郡奥出雲町横田	小林弘則氏	上野・新田哲夫・中澤光平・伊藤芳樹
安来（やすぎ）市広瀬町上山佐	須藤幸義氏	上野・新田哲夫・高山林太郎

調査表は国立国語研究所当該チームの担当者が作成したものをを用いた。調査に際して一部のみ変更し（「寺」と「寺参り、寺子屋」を「川」と「川岸、川下だり、川魚」に）、「青、黒、白」の色彩語彙に「赤」も追加した。さらに音調型の可能性を探るために3～4拍語約25語を別途追加した。2拍の関連語彙を聞いた箇所もある。

調査後に、松倉、伊藤、中澤、高山がそれぞれの担当者となって（適宜、調査者間で打ち合わせしながら）調査表に音調を記入した手書き清書版をまとめた。それを受け取った後の一連の作業は上野が行なった。まず、その清書版と自らの調査表を元にしながら、すべての録音を一通り聞き直した。それと併行しながら、出雲市と雲南市だけであったが、いくつかの項目について電話で確認をした。その際に若干の補充調査もし、特に出雲市では金田一語彙の2拍名詞第4類と第5類を一通り聞くことができた。その結果も含めて全データを入力した（「川」関連と「赤」については調査表ファイルの中に組み込み、それ以外の追加項目は別枠で報告することにした）。その上で出てきた疑問点は、録音があるものについて再度聞き直しを行なった（電話で聞いた部分の録音はない）。こうしてでき上がった資料に基づいて本稿を執筆するとともに、その資料を本稿の中に組み入れた。アクセント解釈の結論は上野（1981;2009）で述べたことと基本的に変わらないが、いくつかの補足をする。

今回の報告の経緯は以上のとおりで、調査者全員の共同調査報告であるが、文責は上野にある。

* うわの ぜんどう：東京大学名誉教授

1. 2 表記

音調は(2)の方向カギ式で示す。現実の発話には半上昇もあつたりするが、(2)の範囲で処理をした。第2文節以降において上昇がある発話とない発話が出た場合は、併記の他に、紙幅に応じて〔 〕のようにまとめて示した。

(2) 音調記号

[: 上昇

] : 下降

]] : 拍内下降 (下降調)

分節音は表音式「カタカナ」表記で示すが、「ひらがな」に(3)の特別な意味をもたせて用いる。

(3) 平仮名表記の意味

え段音: 広いエ (アイ, アエに由来)。「めーカケ」(前掛け), 「けータ」(書いた)等。
通常のエ (狭いエ) はカタカナ表記。「メ」(目), 「ムネ」(胸)等。

い段音, う段音: 母音の無声化拍。CVのCが無声子音でVが i/u であれば, 直後の子音が有声音であっても無声化する。「モチゴメ」(もち米)など。この「ち」は気音が強く出て, かつ, 無声化拍の直前の母音が長めになる。「イチゴ」(苺)の例ではイを長母音かと思ったほどである。この無声化は標準語にないだけでなく, 上昇位置に関与しうる特徴なので, それに関わる場合は明示する。ただし, 「ナデシコ」の「シ」など標準語と同じ無声化例はもとより, 「カンザシガ」(簪が)の「シ」など有声音の直前で無声化しても音調に影響を与えない例は, 片仮名のままとしたものも多い。従って, 平仮名は必ず無声化していることを表わすが, 片仮名は無声化していないことを意味するとは限らない。

また, 音韻的に別の形になっている方言形はできるだけ取り上げる(カタカナ表記)。ラ行音, 特に「リ, ル」は長音「ー」によく変わり(「ケモー」煙, 「クチビー」唇など), それが表面音調に影響を与えることがある。語頭の「イ」には「エ」が(「エモ」芋など), 「ウ」には「オ」が(「オタ」歌など)に対応することがある(一部は語頭以外でもウ段音にオ段音が対応する)。現在ではほとんど使われなくなっているようであるが, その形が確認できたものについては該当項目のところに注記した。元々の調査表にあった「兎(ウサギ)」の下に「オサギ」として()に入れずに示したものがそれである(言い切りの「。」は略)。なお, 「海」のウ[ミ]]と[ウ]ミのように, 語形は同じでアクセントの併用がある場合も同じやり方で示した。

その他の音声上の特徴は特に仮名の上に反映させることはしないが, 以下の点に留意されたい。エ段音の「セ, ゼ」は, 地域(話者)により単語により程度は異なるものの, シェ, ジェに近くなる。イ段音は中舌音で, (少なくとも出雲市の)「キ, ギ」は [kʲi], [gʲi] である。「シとス」, 「チとツ」は母音が同じ [i] で区別がないと見られるが, 一方に統一することはせずに, 表記は元のままとした。なお, 母音の中舌化は東北方言に類似するも, 鼻濁音はなく, 母音間の子音有聲化もない。

以下, (1)の順に出雲市斐川方言から取り上げる。調査の日付け順とは正反対になっているが,

敢えてこうしたのは、斐川方言の音調に興味深い現象があり、これを解釈すれば他方言もほぼ自動的にそのアクセント解釈に繋がると考えられるからである。

2 出雲市斐川方言

2.1 イントネーション

この方言には、他の3地点では見られなかった独特の言い切りイントネーションがある。その機能の解明は今後に俟たなければならないが、断定していることを一つ一つはっきり相手に伝えているように感じられる。後続文節に接続する環境では出ず、言い切りでも早めに列挙する感じで読み上げる場合には出にくいように観察された。その音調は顕著な下降調で、文節末（語末を含む）に現われ、かつ母音が長めになって最後は緩んだ中央母音のシュワーに移りながら終わる。仮名表記では、(4)のように小字の「ア」を付けることにする。なお、(4a)と(4b)との違いは、後述する名詞の有核、有核の違いに当たる。この音調は核の有無とは無関係に出てくる。

(4) 下降調イントネーションの例

- a. カ[ゼア]]. (風), ミ[ナトア]]. (港), ア[ズキニア]]. (小豆に), ミ[ナトマデア]]. (港まで), ト[モダチカラモア]]. (友達からも) など。
- b. ア[メア]]. (雨), オ[トコア]]. (男), ハ[サミア]]. (鉄に), [カ]ブトマデア]]. (兜まで), ナ[デ]シコカラモア]]. (撫子からも) など。

「ボー」(棒)などの語末長母音語でも[ボア]]となり、全体で長母音相当の長さになる。短母音語の「戸」の[トア]]もほぼ同じ長さのように聞こえるが、助詞付き形では[ボーニア]](棒に), ト[ニア]](戸に)のように長短の別は明瞭に出る。(話者の内省では、単独でも長さが違うという。)

稿末に掲げる資料においては、音調面の]] だけを表示し、分節音の「ア」は省略した。それに伴って、「棒」は[ボー]]ではなく、[ボ]ーと表記する(実際の音調もこう聞こえる)。このイントネーションがはっきり出たものは漏れなく資料にも記すように心掛けたが、微弱なケースもあり、無表記の項目にもいろいろの程度に現われている可能性がある。また、実際に現われていなくても、イントネーションの性質上、それを付けた発話は可能であり得る。無表記の項目は、このことを頭に置きながら読む必要がある。

2.2 イントネーションとアクセントの関係

この下降調はあくまでもイントネーションによるもので、アクセントとしての下げ核の存在を意味するものではない。アクセント特徴はそれとは別に存在する。(5)を参照されたい。語末拍がCe/o/aの広母音(厳密には非狭母音)の単語を先に取り上げる。

(5) 無核型と有核型の違い(語末広母音語)

- a. カ[ゼ]]. カ[ゼガ]]. カ[ゼカラ]]. カ[ゼマデモ]]. カ[ゼガア]ー。 (風がある)
- b. コ[メ]]. コ[メ]ガ。 コ[メ]カラ。 コ[メ]マデモ。 コ[メ]ガ([]ア)ー。(米がある)

「風」は、単語単独で文節をなすときは]] は語末に来るが、助詞が付くと文節末に移動し、別文節が続いて言い切りの環境でなくなると「風」の文節に下降は現われなくなってしまう。従

って、単語としての「風」は下降を持たず、言い切りの文節末にこのイントネーションが被さった結果が(5a)であると解される。

一方、「米」の方は、単語単独のみならず、助詞付き文節でも、そして別文節が続いても一貫してメの後に下降を持つ。「米」のアクセントはメに「下げ核」をもつ/コメ]/である。

下げ核の後から文節末までの距離が長いほどこの下降調イントネーションは現われやすい。その距離が短いと現われにくくなるが、その場合でも ア[メ]ニ]].(雨に), ア[メ]マデ]].(雨まで)と出ることがある(「雨」は「米」と同じアクセント)。また、下げ核からの距離が同じ2拍分であっても「から」よりも「まで」の方により多く記録してあるのは、おそらく格助詞と副助詞の性格の違いで「まで」の方がより感情が入りやすく、イントネーションを被せやすいからであろう。

2.3 アクセント体系

核の位置の認定には、もう一つ、狭母音拍に終わる単語の場合も扱う必要がある。そこでは(5)と違った振る舞いが見られる。(6)の「紙」と「耳」の例を参照。

(6) 無核型と有核型の違い(語末狭母音語)

- a. カ[ミ]]. カミ[ガ]]. カミ[カラ]]. カミ[マデモ]]. カミ[ガア]ー。(紙がある)
- b. ミ[ミ]]. ミミ[ガ]]. ミミ[カラ]. ミミ[マ]デモ. ミミ[ガ]ア]ー。(耳がある)

ここでは1拍助詞を付けただけでは区別が出ないが、2拍以上の助詞(連続)を付けるか、別文節を続けると、両者の区別がはっきり現われる。(6a)の]] は言い切り形の文節末に出るのに対して、(6b)では単独では語末(2番目のミ)、助詞付きではその直後の3拍目の後に一貫して下降が見られる。後者の下降は、やはり単語のアクセントであるが、それが「狭母音拍」にある場合はその位置が固定しておらず、後続の普通拍があればそこにずれることが分かる。後述のように、狭母音拍は十分な強さを持っておらず、直後に強い拍が続くと、それに肩代わりをしてもらう形である。(5)と(6)の上昇位置の違いに関しては2.5で後述。)

無核型と語末核型との区別は、語末非狭母音語では1拍助詞を付けるだけで分かるが(ただし「の」については揺れがある)、語末狭母音語の場合は「から」など2拍以上の助詞を付ける必要がある。まとめると、2拍助詞を付ければ名詞のアクセントが判定できることになる。

狭母音拍と並ぶ今一つの制約は、末位の「特殊拍」が単独では高い音調を担えないことで、それは(7)の対から分かる。それぞれの右側が古い方言形、左側がその元の形(同時に、現在の標準語形)である。(7a)(7b)の各対の音調を比べると、普通拍では高い音調(下降調)を担っていたものが、特殊拍に転ずると低くなっている。(7c)の場合は、もともと末位拍が下がっていたので、特殊拍に転じても交替は起こっていない。

(7) 特殊拍の音調

- a. カミ[ナリ]]. と カン[ナ]ー。(雷)
- b. ア[メフリ]]. と ア[メフ]ー。(雨降り)
- c. ミ[ソシ]ル. と ミ[ソシ]ー。(味噌汁)

ただし、このことは特殊拍が下げ核を担えないことを意味するとは限らない。(8)の区別がある。

(8) 特殊拍と核

- a. カン[ナ]ー。 カン[ナーガ]]。 カン[ナーカラ]]。 カン[ナーマデモ]]。
- b. ア[メフ]ー。 ア[メフーガ]]。 ア[メフーカラ]]。 ア[メフーマ]デモ。
- c. ミ[ソシ]ー。 ミ[ソシーガ]]。 ミ[ソシーカラ]]。 ミ[ソシーマデモ]]。

これから、(8a)は無核型、(8b)は語末核型(④型、-①型)、(8c)は次末核型(③型、-②型)であり、(8b)において長音「ー」が核を担っていることになる。ただし、その核はそのままの位置で下降を実現させることはできず、助詞が後続する場合は狭母音拍の場合と同様に1拍後ろにずれ、後続拍のない末位(単独形)においては逆に1拍前にずれて実現する。(7)で見たように、末位における前へのずれは、無核型に言い切りイントネーションが被さった場合でも同様に起こる。末位の「ー」は、アクセントにしるイントネーションにしる、下降を担えないためである。

私は音実質に基づく表層音韻論の立場を取っているが、本節で見た広母音拍、狭母音拍、特殊拍の実現の違いは相補分布をなしており、かつ移動の音声学的な理由もあるので、この立場においてもこれらは音韻レベルで同一のもので、広母音拍に代表される位置に核があるものと解釈する。

まとめると、出雲市斐川方言は下げ核の有無と位置で弁別される $P_n = n+1$ の多型アクセント体系で、同じ出雲の松江市方言と同じである。その核の位置を語頭から数えた数字(無核は0)で本節末の資料の中に書き込んでおく。2拍名詞の資料(1)(2)については書き入れる余白がなかったが、その音調型から、また資料(7)と(8)から、容易に分かるはずである。

2.4 上昇位置

上昇の位置については、広戸・大原(1953: 68-73)と上野(1981;2009)にすでに松江市方言の記述がある。それが出雲市方言にも当てはまる。具体的には(9)のようになる。ここに、Wは広母音拍(非狭母音拍)、Nは狭母音拍、Mは促音を除く特殊拍、Qは促音拍、△は無声化拍で、○は(単語の配列制限に従う範囲での)任意拍を表わし、核を含む下降の位置は問題にしていない(以下も同様)。上野(2009:80)で述べたように、この分布には2拍目の「弱」(9b)、「最弱」(9c)が絡む。(なお、これらの歴史的な説明も上野2009を参照。)狭母音拍は直後に来る拍の性質によって相対的な強さが異なる。

(9) 上昇位置

- a. ○[WO], ○[NN], ○[NM] 2拍目から
- b. [OMO] 1拍目から
- c. ○N[W], ○Q[○], ○△[○] 3拍目から

ただし、○[NN]でも、名詞単独ではケ[ムリ(煙)], ア[ズキ(小豆)]であるのに対して、助詞付き文節ではエビ[ニ(海老に)], カミ[ニ(紙に)]で異なっている。これは、「ニ」が助詞で独立性が強いために、それが狭母音拍であっても語中のものとは異なって「非弱」とみなされた結果、それと隣合う名詞語末狭母音拍の方は相対的に弱いものと扱われることによる。

2拍単位の場合は、(9)の語頭2拍を抜き出したパターンになる。○Nは、そもそも直後に何もなく(強い拍も当然ない)、弱くないものとして扱われて、(1拍目にアクセント核が来ない限り)○[N]となる。この方言には上昇のない型は存在しえない。

4拍以上はほとんどが(9)の最初の3拍で決まるが、(9c)の促音拍、無声化拍の直後にNWが

続く場合は、(10)のように4拍目、5拍目と上昇位置が後退する。この環境でもNは無声化しているので、詳しく言うと(10)の右側は ○△△[W, ○Q△[W, ○M△△[W である可能性が高い。

(10) 4拍目以降の上昇位置の環境

- a. ○△[N ザし[キ。 ○△N[W ザしき[ガ。 (座敷)
- b. ○Q[N ヨッ[ツ。 ○QN[W ヨっつ[ガ。 (四つ)
- c. ○M△[N ワーク[チ。 ○M△N[W ワークち[ガ。 (悪口)

ここでむしろ問題になるのは、(10c)の ワーク[チ、あるいは(8a)の カン[ナー (雷) である。本来、(9b)からは [ワークチ, [カンナー と1拍目から上昇する型が期待されるところだからである。実際、(11)のような、一見上昇位置の対立かと見える例もある。

(11) OM- における上昇の違い

- a. ハー[ガネ (針金) カン[ナー (雷)
- b. [めーカケ (前掛け) [カンザシ (簪)

これを見ると、(11b)は元々語頭が重音節のOM-であったのに対して、(11a)は元は *ハリ[ガネ, *カミ[ナリのON[W○であり、その後でリ>一, ミ>ンと変化しても上昇位置は影響を受けずにそのまま成立したものと見られる。なお、(11a)のカンザシの古い形は *カミサシ (髪挿し) であったはずであるが、今の上昇音調付与規則はその段階まで遡るものではないと考えられる。

(「簪」が *カミサシであった時代は語音構造に関係なく上昇位置が1拍目にあってその音調のままカンザシに変化したか、あるいは最初からカンザシの形で出雲方言に入ってきたものであろう。後者であれば、最初から「髪」との結び付きは意識されなかったことになる。) (10c)のワーク[チの場合も、無声化がどの段階で生じたかという課題はあるが、ワ[ルクチに由来することは疑いない。

これらの通時的な変化を共時的な過程としてとらえ直し、(11a)の基底形をハリガネ, カミナリと設定すれば、そして「悪口」もワルーを基底形と考えれば、上昇の対立は認めなくて済むことになる。この立場は、他の語形を参照している点においてアクセント核の解釈の場合とは異なるように見えるかもしれない。しかしながら、ハリガネ~ハーガネ, カミナリ~カンナー, ワルクチ~ワークチが話者の頭の中で密接に結びついている以上、表層共時音韻論で扱える範囲に納まるものとする(上野 1981:119)。

2. 5 上昇とそれに続く音調

出雲市斐川方言では、上昇の幅が顕著で、かつその後が通常 of 自然下降の形で弱化するのではなく、小幅な下降が繰り返される、ないしは文節末に向かって直線的に下降して行くように知覚されることがある。これがもう一つの特徴である。このため、上昇位置を間違えることはまずないが、その後の音調の動きをとらえ損ねる可能性がある。

具体的に言えば、コ[メボツ]]., コ[メボツガ]]. (米櫃) を、当初、コ[メ]ボツ。コ[メ]ボツガ]]. の②型と聞いたほどである。コ[メ]ボツカ]ラ., コ[メ]ボツマ]デ。と聞いたところでその助詞の音調から④型を捉え損ねていたのではないかと思ひ直し、あらためて聞き直すと明瞭な コ[メボツカ]ラ., コ[メボツマ]デ。が出て来て④型と確定したことがあった。問題の下降をより詳しく表わすと、コ[メ]ボツ]]., コ[メ]ボツ]ガ]]. としたくらいである。

2拍目が(本来の)特殊拍で1拍目から上昇する場合でも、◎型の[カンザシ]。(簪)が[カン]ザシ]。かと聞こえることがあった。③型の ミ[ソシ]ー。(味噌汁)においてさえ、核のあるシよりもソの方が高いように聞こえたこともある。④型で長音に終わるア[メフ]ー。(雨降り)などは、②型、③型と聞き紛れるおそれがある。

しかし、これらと本当の②型である ナ[デ]シコ。を比べると、「撫子」はデの直後の下降が顕著で、シ、コがずっと低くなって弱まる。その差ははっきりしていて、対立そのものには何の疑いもない。

この上昇後の音調特徴は、どのアクセント型にも見られることから、2.1を中心に見てきた言い切り下降イントネーションとの関連で捉えるべきものかもしれない。文節末の急下降]]がその前に影響を与え、上昇の後の音調を引き下げている可能性がある。

2. 6 複合名詞

資料の(7)に見る複合名詞のアクセントは、前部要素の核の有無に対応して複合語の核の有無も決まるという関係が認められる。調査表全体を通して見たときに、「髪」②に対して「簪」◎で一一致しない例が見つかるのは、2.4で検討した「簪」借用語説を裏付けるものであるかもしれない。もっとも、追加調査語彙まで見てみると、(12)に示した同じパターンの例外が見つかるので、強い論拠とはしにくい。

(12) 複合法則の例外

「針」② 「針金」◎
「麦」② 「麦藁」◎
「前」② (マエ) 「前掛け」◎ (めーカケ)

ただし、「米」②と「米櫃」④、「味噌」②と「味噌汁」③の関係は規則的である。なお、複合名詞が有核になる場合、後部3拍語では次末核(-②型)になる。

3 雲南市木次方言, 奥出雲町方言, 安来市広瀬方言

これらの諸方言も基本的なアクセント体系は出雲市斐川方言と同じなので、この後は、4方言全体を見たときの差(地域差)を取り上げることにする。念のためにここで位置関係を略述しておく。県庁所在地の松江市を中心に、その東側(鳥取県寄り)に安来市、西側に出雲市、南側(広島県寄り)に奥出雲町、南西側(出雲市と奥出雲町の間)に雲南市がある。

3. 1 2拍名詞4・5類

対象とした4方言を地理的に大まかに西から東に並べ、調査表にある該当語例のアクセントを記してみると(13)のようになる。なお、奥出雲町で空欄になっているのは、時間の関係で一部調査していない項目。数字は下げ核の位置を表わす。

(13) 2拍名詞4・5類のアクセント

類	単語	出雲市方言	雲南市方言	奥出雲方言	安来市方言
4	笠	2	2	1	1
4	鎌	2	2		1

4	種	2	2	2	1
4	舟	2	2	2	2
4	海	2,1	1	1	1
4	箸	1	1		1
4	松	2	2	1	1
5	雨	2	2	1	1
5	井戸	2	2	2	2
5	錐	2	2		1
5	猿	1	1	1	1
5	鶴	1	1	1	1
5	春	1	1	1	1
5	蛇	1	1	1	1
5	青	2,1	1	1	1
5	黒	2	1	1	1
5	白	2	1	1	1

これを見ると、一番東の安来市広瀬方言はほとんどが①型で、②型は「舟、井戸」のNW構造(2.4参照)の単語の2例だけである。それから西に移るほど②型が増えていき、出雲市斐川方言になると②型が中心を占め、①型は「猿、鶴、春、蛇(、海)」のONで、かつNの子音が有声音の構造に多く見られる状況になっている。

追加語彙資料に示したように、斐川方言については2拍名詞4・5類について電話で聞くことができた。これによると、第4類(使わないという項目を除くと65語)の8割以上が②型で、①型はわずかに「今日、今朝、汁(シー)、主、箸、我(ワー)」の6語(うち3例が語末が長音)と、併用の「海」だけである。そして、③型が「桁、下駄、粒」の3語ある。それに対して第5類(同じく37語)では、①型専用だけでも「秋、朝、鮎、牡蛎、鯉、琴、鮭、猿、鶴、春、蛇、眉(めー)」の12語もある。

これは、奥村三雄(1981)が2拍名詞4・5類の区別がある方言として報告した簸川郡大社町(現出雲市)のアクセントに類似している。(なお、30年近く前であったか、この奥村論文を受けて大社町方言を調査したことがあるが、今、その調査記録が残念ながら見つからない。ほぼ同じ結果であったと記憶する。)

3.2 「狭母音拍+ニ」の音調

狭母音拍に終わる2拍無核型名詞(第1類と第2類に相当)に助詞「ニ」が続くときの音調の地域差を(14)に取り上げる。ここは調査表の出現順で、空欄は未調査である。

(14) 「狭母音拍+ニ」の音調

類	単語	出雲市方言	雲南市方言	奥出雲方言	安来市方言
1	柿	カキ[ニ]]。	カキ[ニ。カ[キニ。	カ[キニ。	カ[キニ。
1	海老	エビ[ニ]]。	エ[ビニ。	エ[ビニ。	エ[ビニ。
2	紙	カミ[ニ]]。	カミ[ニ。カ[ミニ。	カミ[ニ。カ[ミニ。	カ[ミニ。
2	昼	ヒル[ニ]]。	ヒル[ニ。	ヒル[ニ。ヒ[ルニ。	ヒ[ルニ。

1 端	ハシ[ニ]]。		ハシ[ニ。ハ[シニ。
2 橋	ハシ[ニ]]。	ハシ[ニ。	ハシ[ニ。ハ[シニ。
1 霧	キリ[ニ]]。	キリ[ニ。	キ[リニ。

安来市方言では2拍目から上昇するのが基本でありながら、同じ単語でもそこが無声化すると3拍目から上昇するようになっている点（端，橋）が注目される。（「柿に」はカ[キニしか記録していないが、確認すれば カキ[ニも出てきた可能性が高い。）無声化が変化の引き金になっている。未調査語があるものの、奥出雲方言，雲南市方言は2拍目が無声拍以外のときにも3拍目から上昇するパターンが（時には併用で）出ている。そして出雲市方言になると、すべて3拍目から上昇している。ここにおいても全体的に漸層的な移行が見られる。

3. 3 「三つ，四つ」の上昇位置

追加調査語彙の中に、「三日，四日；三つ，四つ」の促音を含む数詞がある。出雲市，雲南市は無核型のミッ[カ，ミッ[ツである。ところが，安来市では，同じく無核型でありながら，ミッ[カ（そして，調査漏れながら，おそらくヨッ[カ）に対して，[ミツツ，[ヨツツと上昇位置が違っている点が注目される。松江市方言にも同じく[ミツツ，[ヨツツがミッ[カなどとは区別されて存在するからである（上野 1981: 111, 119）。これは○QNで，かつ1拍目が非無声化拍である環境で生じている可能性がある。奥出雲町では，ミッ[カ，ヨッ[カ（ともに◎）でありながら，[ミツツ，[ヨツツは①型になっている。さらにこの一帯の情報がほしいところである。

[参考文献]

- 上野善道（1981）「松江市方言のアクセント——付属語を中心に——」『日本海域研究所報告』（金沢大学日本海域研究所）13：109-136.
- 上野善道（2009）「通時的にしか説明できない共時アクセント現象——句頭の上昇と語音との関係——」『月刊言語』（特集：ことばの変化を捉える）38(2)：74-81.
- 奥村三雄（1981）「国語アクセント史の一問題——出雲方言のアクセントを中心に——」『藤原与一先生古稀記念論集 方言学論叢Ⅱ——方言研究の射程——』，三省堂，165-176.
- 広戸惇・大原孝道（1953）『山陰地方のアクセント』，報光社.

4. 出雲方言のアクセント資料

4. 1 出雲市斐川町のアクセント資料

(1) 2拍名詞 (第2拍広母音)

	単語	～が	～に	～から	～まで	～からも	～までも	～の	奥村 1981
1-2-1w-1	風 (カ[ゼ]])	カ[ゼガ]]。	カ[ゼニ]]。	カ[ゼカラ]]。	カ[ゼマデ]]。	カ[ゼカラモ]]。	カ[ゼマデモ]]。	カ[ゼノオト]]	○●▼
1-2-1w-2	箱 (ハ[コ]])	ハ[コガ]]。	ハ[コニ]]。	ハ[コカラ]]。	ハ[コマデ]]。	ハ[コカラモ]]。	ハ[コマデモ]]。	ハ[コノナカ]]	○●▼
1-2-2w-1	音 (オ[ト]])	オ[トガ]]。	オ[トニ]]。	オ[トカラ]]。	オ[トマデ]]。	オ[トカラモ]]。	オ[トマデモ]]。	オ[トノオーキサ]]	○●▼
1-2-2w-2	胸 (ム[ネ]])	ム[ネガ]]。	ム[ネニ]]。	ム[ネカラ]]。	ム[ネマデ]]。	ム[ネカラモ]]。	ム[ネマデモ]]。	ム[ネノマエ]]	○●▼
1-2-2w-3	歌 (オ[タ]])	オ[タガ]]。	オ[タニ]]。	オ[タカラ]]。	オ[タマデ]]。	オ[タカラモ]]。	オ[タマデモ]]。	オ[タノホ]]ン	○●▽
1-2-3w-1	芋 (エ[モ]])	エ[モガ]]。	エ[モニ]]。	エ[モカラ]]。	エ[モマデ]]。	エ[モカラモ]]。	エ[モマデモ]]。	エ[モノツル]]	○●▽
1-2-3w-2	米 (コ[メ]])	コ[メガ]]。	コ[メニ]]。	コ[メカラ]]。	コ[メマデ]]。	コ[メカラモ]]。	コ[メマデモ]]。	コ[メ]ノデ[キ]]	○●▽
1-2-4w-1	笠 (カ[サ]])	カ[サガ]]。	カ[サニ]]。	カ[サカラ]]。	カ[サマデ]]。	カ[サカラモ]]。	カ[サマデモ]]。	カ[サ]ノホ[ネ]]	○●▽
1-2-4w-2	舟 (フ[ネ]])	フ[ネガ]]。	フ[ネニ]]。	フ[ネカラ]]。	フ[ネマデ]]。	フ[ネカラモ]]。	フ[ネマデモ]]。	フ[ネ]ノウ[エ]]	○●▽
1-2-5w-1	雨 (ア[メ]])	ア[メガ]]。	ア[メニ]]。	ア[メカラ]]。	ア[メマデ]]。	ア[メカラモ]]。	ア[メマデモ]]。	ア[メ]ノナ[カ]]	○●▽
1-2-5w-2	井戸 (エ[ド]])	エ[ドガ]]。	エ[ドニ]]。	エ[ドカラ]]。	エ[ドマデ]]。	エ[ドカラモ]]。	エ[ドマデモ]]。	エ[ド]ノマ[エ]] エ[ド]ノマ[エ]]	○●▽

(2) 2拍名詞 (第2拍狭母音)

	単語	～が	～に	～から	～まで	～からも	～までも	～の	奥村 1981
2-2-1n-1	柿 (カ[キ])	カキ[ガ]	カキ[ニ]	カキ[カラ]	カキ[マデ]	カキ[カラモ]	カキ[マデモ]	カキ[ノヘタ]	○○▼
2-2-1n-2	海老 (エ[ビ])	エビ[ガ]	エビ[ニ]	エビ[カラ]	エビ[マデ]	エビ[カラモ]	エビ[マデモ]	エビ[ノカラ]	○○▼
2-2-2n-1	紙 (カ[ミ])	カミ[ガ]	カミ[ニ]	カミ[カラ]	カミ[マデ]	カミ[カラモ]	カミ[マデモ]	カミ[ノウエ]	○○▼
2-2-2n-2	昼 (ヒ[ル]) フ[ル]も?	ヒル[ガ]	ヒル[ニ]	ヒル[カラ]	ヒル[マデ]	ヒル[カラモ]	ヒル[マデモ]	ヒル[ノシゴト] ヒル[ノ]シ[ゴト]	○○▼
2-2-3n-1	足 (ア[シ])	アシ[ガ]	アシ[ニ]	アシ[カラ]	アシ[マデ]	アシ[カラモ]	アシ[マデモ]	アシ[ノウラ]	○○▼
2-2-3n-2	耳 (ミ[ミ])	ミミ[ガ]	ミミ[ニ]	ミミ[カラ]	ミミ[マデ]	ミミ[カラモ]	ミミ[マデモ]	ミミ[ノナカ]	○○▼
2-2-4n-1	松 (マ[ツ])	マツ[ガ]	マツ[ニ]	マツ[カラ]	マツ[マデ]	マツ[カラモ]	マツ[マデモ]	マツ[ノ]エ[ダ]	○○▼
2-2-4n-2	海 (ウ[ミ])	ウミ[ガ]	ウミ[ニ]	ウミ[カラ]	ウミ[マデ]	ウミ[カラモ]	ウミ[マデモ]	ウミ[ノ]ナカ]	○○▼
2-2-5n-1	猿 (サ[ル]) [サ]ー	[ウ]ミガ [サ]ルガ	[ウ]ミニ [サ]ルニ	[ウ]ミカラ [サ]ルカラ	[ウ]ミマデ [サ]ルマデ	[ウ]ミカラモ [サ]ルカラモ	[ウ]ミマデモ [サ]ルマデモ	[ウ]ミノナ[カ] [サ]ルノシッ[ボ]	●○▽
2-2-5n-2	鶴 (ツ[ル]) [ツ]ー	[ツ]ルガ	[ツ]ルニ	[ツ]ルカラ [ツ]ーカラ	[ツ]ルマデ	[ツ]ルカラモ	[ツ]ルマデモ	[ツ]ルノハ[ネ]	●○▽
2-2-5n-3	蛇 (ヘ[ビ])	[ヘ]ビガ	[ヘ]ビニ	[ヘ]ビカラ ※	[ヘ]ビマデ	[ヘ]ビカラモ	[ヘ]ビマデモ	[ヘ]ビノヌ[ケガラ]	●○▽

※ ツー[カラ] は「弦から」。

(3) 2拍名詞

	単語	～が	～に	～から	～まで	奥村 1981
3-1-2-1w	飴 (ア[メ])	ア[メ]ガ。	ア[メ]ニ。	ア[メ]カラ。	ア[メ]マデ。	○●▼
3-1-2-5w	雨 (ア[メ])	ア[メ]ガ。	ア[メ]ニ。	ア[メ]カラ。	ア[メ]マデ。	○●▽
3-2-2-1w	釜 (カ[マ])	カ[マ]ガ。	カ[マ]ニ。	カ[マ]カラ。	カ[マ]マデ。	○●▼
3-2-2-4w	鎌 (カ[マ])	カ[マ]ガ。	カ[マ]ニ。	カ[マ]カラ。	カ[マ]マデ。	○●▽
3-3-2-1n	端 (ハ[シ])	ハシ[ガ]。	ハシ[ニ]。	ハシ[カラ]。	ハシ[マデ]。	○●▼
3-3-2-2n	橋 (ハ[シ])	ハシ[ガ]。	ハシ[ニ]。	ハシ[カラ]。	ハシ[マデ]。	○●▼
3-3-2-4n	箸 (ハ[シ])	[ハ]シガ。	[ハ]シニ。	[ハ]シカラ。	[ハ]シマデ。	●○▽
3-4-2-2n	紙 (カ[ミ])	カミ[ガ]。	カミ[ニ]。	カミ[カラ]。	カミ[マデ]。	○●▼
3-4-2-3n	髪 (カ[ミ])	カミ[ガ]。	カミ[ニ]。	カミ[カラ]。	カミ[マ]デ。	○●▼
3-5-2-1n	霧 (キ[リ])	キリ[ガ]。	キリ[ニ]。	キリ[カラ]。	キリ[マデ]。	—
3-5-2-4n	錐 (キ[リ])	キリ[ガ]。	キリ[ニ]。	キリ[カラ]。	キリ[マ]デ。	○●▼
	[キ]ー	キー[ガ]。	キー[ニ]。	キー[カラ]。	キー[マ]デ。	—
3-6-2-5w-1	青 ([ア]オ)	[ア]オガ。	[ア]オニ。			○●▽～●○▽
			ア[オ]ニ。	ア[オ]カラ。	ア[オ]マデ。	
3-6-2-5w-2	黒 (ク[ロ])	ク[ロ]ガ。	ク[ロ]ニ。	ク[ロ]カラ。	ク[ロ]マデ。	○●▽～●○▽
3-6-2-5w-3	白 (シ[ロ])	シ[ロ]ガ。	シ[ロ]ニ。	シ[ロ]カラ。	シ[ロ]マデ。	○●▽～●○▽
3-7-2-	赤 [ア]カ 時にア[カ]も	ア[カ]ガ。	ア[カ]ニ。	ア[カ]カラ。	ア[カ]マデ。	

(4) 3拍名詞(言い切り)

	単語	～が	～に	～から	～まで	～からも	～までも
4-3-1-1 0	煙(ケ[ムリ]) ケ[モ]ー	ケ[ムリガ]。 ケ[モーガ]。	ケ[ムリニ]。 オ[ドリニ]。	ケ[ムリカラ]。 オ[ドリカラ]。	ケ[ムリマデ]。 オ[ドリマデ]。	ケ[ムリカラモ]。 オ[ドリカラモ]。	ケ[ムリマデモ]。 オ[ドリマデモ]。
4-3-1-2 0	踊(オ[ドリ]) オ[ド]ー	オ[ドリガ]。 オ[ドーガ]。	オ[ドリニ]。 ミ[ナトニ]。 [オンナ]ニ。	オ[ドリカラ]。 ミ[ナトカラ]。 [オンナ]カラ。	オ[ドリマデ]。 ミ[ナトマデ]。 [オンナ]マデ。	オ[ドリカラモ]。 ミ[ナトカラモ]。 [オンナ]カラモ]。	オ[ドリマデモ]。 ミ[ナトマデモ]。 [オンナ]マデモ]。
4-3-1-3 0	港(ミ[ナト])	ミ[ナトガ]。	ミ[ナトニ]。 [オンナ]ニ。	ミ[ナトカラ]。 [オンナ]カラ。	ミ[ナトマデ]。 [オンナ]マデ。	ミ[ナトカラモ]。 [オンナ]カラモ]。	ミ[ナトマデモ]。 [オンナ]マデモ]。
4-3-2-1 3 0	女([オンナ]) オ[ナゴ]	[オンナ]ガ。 オ[ナゴガ]。	[オンナ]ニ。 オ[ナゴニ]。	[オンナ]カラ。 オ[ナゴカラ]。	[オンナ]マデ。 オ[ナゴマデ]。	[オンナ]カラモ]。 オ[ナゴカラモ]。	[オンナ]マデモ]。 オ[ナゴマデモ]。
4-3-2-2 0	小豆(ア[ズキ])	ア[ズキガ]。	ア[ズキニ]。 ハ[サミニ]。 カ[ガミニ]。	ア[ズキカラ]。 ハ[サミカラ]。 カ[ガミカラ]。	ア[ズキマデ]。 ハ[サミマデ]。 カ[ガミマデ]。	ア[ズキカラモ]。 ハ[サミカラモ]。 カ[ガミカラモ]。	ア[ズキマデモ]。 ハ[サミマデモ]。 カ[ガミマデモ]。
4-3-4-1 0	鋏(ハ[サミ])	ハ[サミガ]。	ハ[サミニ]。 カ[ガミニ]。	ハ[サミカラ]。 カ[ガミカラ]。	ハ[サミマデ]。 カ[ガミマデ]。	ハ[サミカラモ]。 カ[ガミカラモ]。	ハ[サミマデモ]。 カ[ガミマデモ]。
4-3-4-2 0	鏡(カ[ガミ])	カ[ガミガ]。	カ[ガミニ]。 オ[トコニ]。 ア[サ]ヒニ。	カ[ガミカラ]。 オ[トコカラ]。 ア[サ]ヒカラ。	カ[ガミマデ]。 オ[トコマデ]。 ア[サ]ヒマデ。	カ[ガミカラモ]。 オ[トコカラモ]。 ア[サ]ヒカラモ]。	カ[ガミマデモ]。 オ[トコマデモ]。 ア[サ]ヒマデモ]。
4-3-4-3 3	男(オ[トコ])	オ[トコガ]。	オ[トコニ]。 ア[サ]ヒニ。	オ[トコカラ]。 ア[サ]ヒカラ。	オ[トコマデ]。 ア[サ]ヒマデ。	オ[トコカラモ]。 ア[サ]ヒカラモ]。	オ[トコマデモ]。 ア[サ]ヒマデモ]。
4-3-5-1 2	朝日(ア[サ]ヒ)	ア[サ]ヒガ。	ア[サ]ヒニ。 イ[ノ]チニ。	ア[サ]ヒカラ。 イ[ノ]チカラ。	ア[サ]ヒマデ。 イ[ノ]チマデ。	ア[サ]ヒカラモ]。 イ[ノ]チカラモ]。	ア[サ]ヒマデモ]。 イ[ノ]チマデモ]。
4-3-5-2 2	命(イ[ノ]チ) エ[ノ]チ	イ[ノ]チガ。 エ[ノ]チガ。	イ[ノ]チニ。 コ[コロ]ニ。 ウ[サ]ギニ。	イ[ノ]チカラ。 コ[コロ]カラ。 ウ[サ]ギカラ。	イ[ノ]チマデ。 コ[コロ]マデ。 ウ[サ]ギマデ。	イ[ノ]チカラモ]。 コ[コロ]カラモ]。 ウ[サ]ギカラモ]。	イ[ノ]チマデモ]。 コ[コロ]マデモ]。 ウ[サ]ギマデモ]。
4-3-5-3 3	心(コ[コロ])	コ[コロガ]。	コ[コロ]ニ。 ウ[サ]ギニ。	コ[コロ]カラ。 ウ[サ]ギカラ。	コ[コロ]マデ。 ウ[サ]ギマデ。	コ[コロ]カラモ]。 ウ[サ]ギカラモ]。	コ[コロ]マデモ]。 ウ[サ]ギマデモ]。
4-3-6-1 2	兎(ウ[サ]ギ) オ[サ]ギ	ウ[サ]ギガ。 オ[サ]ギガ。	ウ[サ]ギニ。 オ[サ]ギニ。	ウ[サ]ギカラ。 オ[サ]ギカラ。	ウ[サ]ギマデ。 オ[サ]ギマデ。	ウ[サ]ギカラモ]。 オ[サ]ギカラモ]。	ウ[サ]ギマデモ]。 オ[サ]ギマデモ]。
4-3-6-2 0	狐(きつ[ネ])	きつ[ネガ]。	きつ[ネニ]。 セ[ナカニ]。 [カ]ブトニ。	きつ[ネカラ]。 セ[ナカカラ]。 [カ]ブトカラ。	きつ[ネマデ]。 セ[ナカマデ]。 [カ]ブトマデ。	きつ[ネカラモ]。 セ[ナカカラモ]。 [カ]ブトカラモ]。	きつ[ネマデモ]。 セ[ナカマデモ]。 [カ]ブトマデモ]。
4-3-6-3 0	背中(セ[ナカ])	セ[ナカガ]。	セ[ナカニ]。 [カ]ブトニ。	セ[ナカカラ]。 [カ]ブトカラ。	セ[ナカマデ]。 [カ]ブトマデ。	セ[ナカカラモ]。 [カ]ブトカラモ]。	セ[ナカマデモ]。 [カ]ブトマデモ]。
4-3-7-1 1	兜([カ]ブト)	[カ]ブトガ。	[カ]ブトニ。 イチ[ゴニ]。	[カ]ブトカラ。 イチ[ゴカラ]。	[カ]ブトマデ。 イチ[ゴマデ]。	[カ]ブトカラモ]。 イチ[ゴカラモ]。	[カ]ブトマデモ]。 イチ[ゴマデモ]。
4-3-7-2 0	葎(イチ[ゴ]) エチ[ゴ]	イチ[ゴガ]。 エチ[ゴガ]。	イチ[ゴニ]。 ク[スリニ]。 ク[スー]ニ。	イチ[ゴカラ]。 ク[スリカラ]。 ク[スー]カラ]。	イチ[ゴマデ]。 ク[スリマデ]。 ク[スー]マデ]。	イチ[ゴカラモ]。 ク[スリカラモ]。 ク[スー]カラモ]。	イチ[ゴマデモ]。 ク[スリマデモ]。 ク[スー]マデモ]。
4-3-7-3 0	葉(ク[スリ]) ク[ス]ー	ク[スリガ]。 ク[スー]ガ]。	ク[スリニ]。 ク[スー]ニ。	ク[スリカラ]。 ク[スー]カラ]。	ク[スリマデ]。 ク[スー]マデ]。	ク[スリカラモ]。 ク[スー]カラモ]。	ク[スリマデモ]。 ク[スー]マデモ]。

(5) 4拍名詞

	単語	～が	～に	～から	～まで	～からも	～までも
5-01 0	餅米 (もち[ゴメ])	もち[ゴメガ]]。	もち[ゴメニ]]。	もち[ゴメカラ]]。	もち[ゴメマデ]]。	もち[ゴメカラモ]]。	もち[ゴメマデモ]]。
5-02 0	友達 (ト[モダチ])	ト[モダチガ]]。	ト[モダチニ]]。	ト[モダチカラ]]。	ト[モダチマデ]]。	ト[モダチカラモ]]。	ト[モダチマデモ]]。
5-03 0	懐 (フ[トコロ])	フ[トコガ]]。	フ[トコニ]]。	フ[トコカラ]]。	フ[トコマデ]]。	フ[トコカラモ]]。	フ[トコマデモ]]。
5-04 0	唇 (ク[チビル])	ク[チビガ]]。	ク[チビニ]]。	ク[チビカラ]]。	ク[チビマデ]]。	ク[チビカラモ]]。	ク[チビマデモ]]。
5-05 0	川上 (カ[ワカミ])	カ[ワカミガ]]。	カ[ワカミニ]]。	カ[ワカミカラ]]。	カ[ワカミマデ]]。	カ[ワカミカラモ]]。	カ[ワカミマデモ]]。
5-06 4	色紙 (イ[ロガミ])	イ[ロガミガ]]。	イ[ロガミニ]]。	イ[ロガミカラ]]。	イ[ロガミマデ]]。	イ[ロガミカラモ]]。	イ[ロガミマデモ]]。
5-07 0	雷 (カミ[ナリ])	カミ[ナリガ]]。	カミ[ナリニ]]。	カミ[ナリカラ]]。	カミ[ナリマデ]]。	カミ[ナリカラモ]]。	カミ[ナリマデモ]]。
0	カン[ナ]	カン[ナガ]]。			カン[ナマデ]]。		
5-08 4	米櫃 (コ[メボツ])	コ[メボツガ]]。	コ[メボツニ]]。	コ[メボツカラ]]。	コ[メボツマデ]]。	コ[メボツカラモ]]。	コ[メボツマデモ]]。
5-09 0	簪 ([カンザシ])	[カンザシガ]]。	[カンザシニ]]。	[カンザシカラ]]。	[カンザシマデ]]。	[カンザシカラモ]]。	[カンザシマデモ]]。
5-10 0	針金 (ハー[ガネ])	ハー[ガネガ]]。	ハー[ガネニ]]。	ハー[ガネカラ]]。	ハー[ガネマデ]]。	ハー[ガネカラモ]]。	ハー[ガネマデモ]]。
5-11 0	麦藁 (ムギ[ワラ])	ムギ[ワラガ]]。	ムギ[ワラニ]]。	ムギ[ワラカラ]]。	ムギ[ワラマデ]]。	ムギ[ワラカラモ]]。	ムギ[ワラマデモ]]。
5-12 3	味噌汁 (ミ[ソシ]ル)	ミ[ソシ]ルガ]]。					
3	ミ[ソシ]	ミ[ソシ]ーガ]]。	ミ[ソシ]ーニ]]。	ミ[ソシ]ーカラ]]。	ミ[ソシ]ーマデ]]。	ミ[ソシ]ーカラモ]]。	ミ[ソシ]ーマデモ]]。
5-13 4	雨降り (ア[メフリ])	ア[メフガ]]。	ア[メフリニ]]。	ア[メフカラ]]。	ア[メフマデ]]。	ア[メフカラモ]]。	ア[メフマデモ]]。
4	ア[メフ]	[めーカケガ]]。	[めーカケニ]]。	[めーカケカラ]]。	[めーカケマデ]]。	[めーカケカラモ]]。	[めーカケマデモ]]。
5-14 0	前掛け ([めーカケ])	ウ[グイスガ]]。	ウ[グイスニ]]。	ウ[グイスカラ]]。	ウ[グイスマデ]]。	ウ[グイスカラモ]]。	ウ[グイスマデモ]]。
5-15 0	鶯 (ウ[グイス])						

5-16	2	撫子 (ナ[デ]シコ)	ナ[デ]シコガ]]. ナ[デ]シコニ]]. ナ[デ]シコカラ]]. ナ[デ]シコマデ]]. ナ[デ]シコカラモ]]. ナ[デ]シコマデモ]].
5-17	0	風呂敷(フ[ロシキ])	フ[ロシキガ]]. フ[ロシキニ]]. フ[ロシキカラ]]. フ[ロシキマデ]]. フ[ロシキカラモ]]. フ[ロシキマデモ]].

(6) 1拍名詞

	単語	～が	～に	～から	～まで	～からも	～までも	～の
6-1-1-1	0	蚊 ([カ]]	カ[[ニ]].	カ[[カラ]].	カ[[マデ]].	カ[[カラモ]].	カ[[マデモ]].	カ[[ノ]]ナキ[[ゴエ]]
6-1-1-2	0	戸 ([ト]]	ト[[ニ]].	ト[[カラ]].	ト[[マデ]].	ト[[カラモ]].	ト[[マデモ]].	ト[[ノ]]ス[[ベリ]]
6-1-1-3	0	血 ([チ]]	チ[[ニ]].	チ[[カラ]].	チ[[マデ]].	チ[[カラモ]].	チ[[マデモ]]. ※	チ[[ノ]]イ[[ロ]]
6-1-2-1	0	葉 ([ハ]]	ハ[[ニ]].	ハ[[カラ]].	ハ[[マデ]].	ハ[[カラモ]].	ハ[[マデモ]].	ハ[[ノ]]イ[[ロ]]
6-1-2-2	0	日 ([ヒ]]	ヒ[[ニ]].	ヒ[[カラ]]. ※	ヒ[[マデ]]. ※	ヒ[[カラモ]]. ※	ヒ[[マデモ]]. ※	ヒ[[ノ]]ヒ[[〇]]カリ]]
6-1-3-1	1	手 ([テ]]	[テ]ニ。	[テ]カラ。	[テ]マデ。	[テ]カラモ]].	[テ]マデモ]].	テ[[ノ]]ナカ[[一語]]
6-1-3-2	1	目 ([メ]]	[メ]ニ。	[メ]カラ。	[メ]マデ。	[メ]カラモ]].	[メ]マデモ]].	[メ]ノウ[[エ]]
6-1-3-3	1	火 ([ヒ]]	ヒ[[ニ]].	ヒ[[カラ]].	ヒ[[マデ]].	ヒ[[カラモ]].	ヒ[[マデモ]].	ヒ[[ノ]]タマ[[一語]]
	1	[フ]]	フ[[ニ]].	フ[[カラ]].	フ[[マデ]].	フ[[カラモ]].	フ[[マデモ]].	ヒ[[ノ]]イ[[オ]]イ

※これらの狭母音語においては、しばしばヒ[[カラ]], ヒ[[マ]デ], ヒ[[カ]ラモ]], ヒ[[マ]デモ]] も出る。

(7) 複合語

		単語		奥村 1981	
7-2-5n	春 ([ハ]ル) 1	ハー[ヤス]ミ 4	ハー[マツ]ー (祭) 4	ハー[サメ]] (食) 0	●○▽
7-2-2n	夏 (ナ[ツ]] 0	ナツ[ヤスミ]] 0	ナツ[マツ]ー	ナ[ツクサ]] 0	○●▽
7-2-1w	金 (カ[ネ]] 0	カ[ネズ]けー 0	カ[ネモ-ケ]]	カ[ネモチ]] 0	○●▼
7-2-2w	川 (カ[ワ]] 0	カ[ワギシ]] 0	カ[ワ下]ダー	カ[ワザ]カナ]] 0	○●▼
7-2-3w	塩 ([ソ]] 1	[ソ-アジ]] ※4	[ソ-カゲ]ン ※ 4	[ソ-気]] ※ 3	○●▽
7-2-4w	種 (タ[ネ]] 2	タ[ネマキ]] 4	タ[ネツ]ケ]]	タ[ネオマ]] (馬) 4	○●▽
7-2-5w	雨 (ア[メ]] 2	ア[メ降]ー 4	ア[メ上]ガー	ア[メ漏]ー 3	○●▽

※仮にソーとしたが、半長で、子音も長子音的に聞こえる。シオが完全には融合していない可能性がある。

(8) 2拍名詞 (接続)

		単語	～が	～を	～に	～から
8-2-1w	0	箱 (ハ[コ]]	ハ[コガ]アー。	ハ[ココ]作ツ]タ。	ハ[コニ]入[レ]タ]]。	ハ[ココ]ラで]ー]タ (出した)。
8-2-1n	0	柿 (カ[キ]]	カキ[ガ]アー。	カキ[オ]食ツ]タ]]。	カキ[ニ (袋を) 被]ズ[セ]タ。	カキ[カラ]食ツ]タ]]。
8-2-2w	0	音 (オ[ト]]	オ[トガ]聞]コエ]ー。	オ[トオ]立[テ]タ。	オ[トニ]敏]感]ダ]]。	オ[ト]カラ]覚[ボエ]ー。
8-2-2n	0	紙 (カ[ミ]]	カミ[ガ]ね]ー。	カミ[オ]破ツ]タ]]。	カミ[ニ]け]ー]タ (書いた)。	カミ[カラ]捨[テ]タ]]。
8-2-3w	2	芋 (イ[モ]]	イ[モ]ガ[ア]ー。	イ[モ]オツ]クツ]タ。(畑)	イ[モ]ニ]似[ト]ー。	イ[モ]カラ (先に) [食]ー。
8-2-3n	2	足 (ア[シ]]	ア[シ]ガ]痛[テ]ー。	ア[ソ]揉]ン[ダ]]。 (アソのソの母音は半長)	ア[シ]ニ] (薬を) つ[ケ]タ。	ア[シ]カラ]揉]ン[ダ]]。
8-2-4w	2	笠 (カ[サ]]	カ[サ]ガ[ア]ー。	カ[サ]オ]被[ブ]ツ]タ。	カ[サ]ニ] (飾りを) つ[ケ]タ。	カ[サ]カラ]作[ク]ツ]タ。
8-2-4n	1, 2	海 ([ウ]ミ)	[ウ]ミガ]見[エ]ー。	カ[サ]オ]被]ズツ]タ]]。 [ウ]ミオ]見[タ]]。	[ウ]ミ]ニ]行]き[タ]] (行った)。	[ウ]ミ]カラ]吹[イ]テ]ク]ー。

8-2-5w	2	雨 (ア[メ])	ア[メ]ガ[降]ー。 [へ]ビガオ[ル]。 ～オー[ズ (おるよ)]	ア[メ]オ降[ラセ]ー。 [へ]ビオ捕[カメ]ータ。	ア[メ]ニ濡[レタ]。 [へ]ビニ[気]ーつゲ]ー。	(家を) ア[メ]カラ守[モ]ー。 [へ]ビカラ逃[ゲ]ー。
--------	---	----------	--	-------------------------------	-------------------------------	-----------------------------------

(9) 3拍名詞 (接続)

	単語	～が	～を	～に	～から
9-3-1	0	煙 (ケ[モ]ー)	ケ[モ]ーで]ータ (出した)。 ケ[モ]ーニナツ]タ。	ケ[モ]ーニナツ]タ。	(家を) ケ[モ]ーカラ]守[モ]ー。
9-3-2	3	女 ([オンナ])	[オンナ]ガ居[ル]。 オ[ナゴ]オ]見[タ]。 オ[ナゴ]オ]見[タ]。	[オンナ]ニ[会]ツ]タ。	[オンナ]カラ (先に) 始[メ]タ]。
9-3-4	3	男 (オ[トコ])	オ[トコ]ガ居[ル]。 オ[トコ]オ]見[タ]。	オ[トコ]ニ[会]ツ]タ。	オ[トコ]カラ (先に) 始[メ]タ]。
9-3-5	3	心 (コ[コロ])	コ[コロ]ガ優[サシ]ー。 コ[コロ]オ]入[レ替エ]ー。	コ[コロ]ニヒ[ビ]ータ。	コ[コロ]カラ謝[ヤマ]ー。
9-3-6	2	兎 (ウ[サ]ギ)	ウ[サ]ギガ居[ル]。 ウ[サ]ギオ]飼]ツ]トー。	ウ[サ]ギニエ[サ]ヤ]ー。	ウ[サ]ギカラ (先に) つ[カ]め]ータ。
9-3-7	1	兜 ([カ]ブト)	[カ]ブトガ[ア]ー。 [カ]ブトオ]カ]ブ]ツ]タ。	[カ]ブトニ (飾りを) つ[ケ]タ。	[カ]ブトカラ始[メ]タ]。

4. 2 雲南市木次町のアクセント資料

(1) 2拍名詞 (第2拍広母音)

	単語	～が	～に	～から	～まで	～からも	～までも	～の	奥村 1981
1-2-1w-1	風 (カ[ゼ])	カ[ゼ]ガ。	カ[ゼ]ニ。	カ[ゼ]カラ。	カ[ゼ]マデ。	カ[ゼ]カラモ。※	カ[ゼ]マデモ。※	カ[ゼ]ノオト	○●▼
1-2-1w-2	箱 (ハ[コ])	ハ[コ]ガ。	ハ[コ]ニ。	ハ[コ]カラ。	ハ[コ]マデ。	ハ[コ]カラモ。※	ハ[コ]マデモ。※	ハ[コ]ノナ[カ]	○●▼
1-2-2w-1	音 (オ[ト])	オ[ト]ガ。	オ[ト]ニ。	オ[ト]カラ。	オ[ト]マデ。	オ[ト]カラモ。※	オ[ト]マデモ。※	オ[ト]ノオーキサ	○●▼
1-2-2w-2	胸 (ム[ネ])	ム[ネ]ガ。	ム[ネ]ニ。	ム[ネ]カラ。	ム[ネ]マデ。	ム[ネ]カラモ。※	ム[ネ]マデモ。※	ム[ネ]ノマ[エ]	○●▼
1-2-2w-3	歌 (ウ[タ]) オ[タ]	ウ[タ]ガ。	ウ[タ]ニ。	ウ[タ]カラ。	ウ[タ]マデ。	ウ[タ]カラモ。	ウ[タ]マデモ。	ウ[タ]ノ[ホ]ン	○●▽
1-2-3w-1	芋 (イ[モ]) エ[モ]	イ[モ]ガ。	イ[モ]ニ。	イ[モ]カラ。	イ[モ]マデ。	イ[モ]カラモ。	イ[モ]マデモ。	イ[モ]ノツ[ル] イ[モ]ノツ[ル]	○●▽
1-2-3w-2	米 (コ[メ])	コ[メ]ガ。	コ[メ]ニ。	コ[メ]カラ。	コ[メ]マデ。	コ[メ]カラモ。	コ[メ]マデモ。	コ[メ]ノデ[キ]	○●▽
1-2-4w-1	笠 (カ[サ])	カ[サ]ガ。	カ[サ]ニ。	カ[サ]カラ。	カ[サ]マデ。	カ[サ]カラモ。	カ[サ]マデモ。	カ[サ]ノホ[ネ]	○●▽
1-2-4w-2	舟 (フ[ネ])	フ[ネ]ガ。	フ[ネ]ニ。	フ[ネ]カラ。	フ[ネ]マデ。	フ[ネ]カラモ。	フ[ネ]マデモ。	フ[ネ]ノウエ	○●▽
1-2-5w-1	雨 (ア[メ])	ア[メ]ガ。	ア[メ]ニ。	ア[メ]カラ。	ア[メ]マデ。	ア[メ]カラモ。	ア[メ]マデモ。	ア[メ]ノナ[カ]	○●▽
1-2-5w-2	井戸 (イ[ド]) エ[ド]	イ[ド]ガ。	イ[ド]ニ。	イ[ド]カラ。	イ[ド]マデ。	イ[ド]カラモ。	イ[ド]マデモ。	イ[ド]ノ[マ]エ ～マ[エ]を否定して	○●▽

※これが本来と見られるが、しばしばカ[ゼ]カラモ、カ[ゼ]マデモにも揺れる。

(2) 2拍名詞 (第2拍狭母音)

	単語	～が	～に	～から	～まで	～からも	～までも	～の	奥村 1981
2-2-1n-1	柿 (カ[キ])	カキ[ガ]。	カキ[ニ]。 カ[キニ]。	カキ[カラ]。 ※	カキ[マデ]。	カキ[カラ]モ。	カキ[マデ]モ。 ※	カキ[ノ]ヘタ	○○▼
2-2-1n-2	海老 (エ[ビ])	エビ[ガ]。	エビ[ニ]。	エビ[カラ]。 ※	エビ[マデ]。 ※	エビ[カラ]モ。	エビ[マデ]モ。 ※	エビ[ノ]カラ	○○▼
2-2-2n-1	紙 (カ[ミ])	カミ[ガ]。	カミ[ニ]。 カ[ミニ]。	カミ[カラ]。 ※	カミ[マデ]。 ※	カミ[カラ]モ。	カミ[マデ]モ。 ※	カミ[ノ]ウエ	○○▼
2-2-2n-2	屋 (ヒ[ル])	ヒル[ガ]。	ヒル[ニ]。	ヒル[カラ]。 ※	ヒル[マデ]。 ※	ヒル[カラ]モ。	ヒル[マデ]モ。 ※	ヒル[ノ]シゴト	○○▼
2-2-3n-1	足 (ア[シ])	アシ[ガ]。	アシ[ニ]。	アシ[カラ]。	アシ[マデ]。	アシ[カラ]モ。	アシ[マデ]モ。	アシ[ノ]ウラ	○○▼
2-2-3n-2	耳 (ミ[ミ])	ミミ[ガ]。	ミミ[ニ]。	ミミ[カラ]。	ミミ[マデ]。	ミミ[カラ]モ。	ミミ[マデ]モ。	ミミ[ノ]ナカ	○○▼
2-2-4n-1	松 (マ[ツ])	マツ[ガ]。	マツ[ニ]。	マツ[カラ]。	マツ[マデ]。	マツ[カラ]モ。	マツ[マデ]モ。	マツ[ノ]エ[D]ダ	○○▼
2-2-4n-2	海 ([ウ]ミ)	[ウ]ミガ。	[ウ]ミニ。	[ウ]ミカラ。	[ウ]ミマデ。	[ウ]ミカラモ。	[ウ]ミマデモ。	[ウ]ミノナカ	○○▼
2-2-5n-1	猿 ([サ]ル)	[サ]ルガ。	[サ]ルニ。	[サ]ルカラ。	[サ]ルマデ。	[サ]ルカラモ。	[サ]ルマデモ。	[サ]ルノシッ[ボ]	●○○▽
2-2-5n-2	鶴 ([ツ]ル)	[ツ]ルガ。	[ツ]ルニ。	[ツ]ルカラ。	[ツ]ルマデ。	[ツ]ルカラモ。	[ツ]ルマデモ。	[ツ]ルノハ[D]ネ	●○○▽
2-2-5n-3	蛇 ([ヘ]ビ)	[ヘ]ビガ。	[ヘ]ビニ。	[ヘ]ビカラ。	[ヘ]ビマデ。	[ヘ]ビカラモ。	[ヘ]ビマデモ。	[ヘ]ビノヌケガラ [ヘ]ビノヌ[ケ]ガラ	●○○▽

※これが本来と見られるが、しばしばカキ[カ]ラ、カミ[マ]デ、カキ[マ]デモにも揺れる。

(3) 2拍名詞 (「端」のみ未調査)

	単語	～が	～に	～から	～まで	奥村1981
3-1-2-1w	飴 (ア[メ])	ア[メ]ガ。	ア[メ]ニ。	ア[メ]カラ。	ア[メ]マデ。	○●▼
3-1-2-5w	雨 (ア[メ])	ア[メ]ガ。	ア[メ]ニ。	ア[メ]カラ。	ア[メ]マデ。	○●▽
3-2-2-1w	釜 (カ[マ]) (稀) ハ[ガ]マが普通※	カ[マ]ガ。	カ[マ]ニ。	カ[マ]カラ。	カ[マ]マデ。	○●▼
3-2-2-4w	鎌 (カ[マ])	カ[マ]ガ。	カ[マ]ニ。	カ[マ]カラ。	カ[マ]マデ。	○●▽
3-3-2-1n	端 (ハシ)	ハシガ。	ハシニ。	ハシカラ。	ハシマデ。	○○▼
3-3-2-2n	橋 (ハシ)	ハシガ。	ハシニ。	ハシカラ。	ハシマデ。	○○▼
3-3-2-4n	箸 (ハシ)	ハシガ。	ハシニ。	ハシカラ。	ハシマデ。	●○▽
3-4-2-2n	紙 (カ[ミ])	カミ[ガ]。	カミ[ニ]。	カミ[カ]ラ。	カミ[マ]デ。	○○▼
3-4-2-3n	髪 (カ[ミ])	カミ[ガ]。	カミ[ニ]。	カミ[カ]ラ。	カミ[マ]デ。	○○▼
3-5-2-1n	霧 (キ[リ])	キリ[ガ]。	キリ[ニ]。	キリ[カ]ラ。	キリ[マ]デ。	—
3-5-2-4n	錐 (キ[リ])	キリ[ガ]。	キリ[ニ]。	キリ[カ]ラ。	キリ[マ]デ。	○○▼
3-6-2-5w-1	青 ([ア]オ)	[ア]オガ。	[ア]オニ。	[ア]オカラ。	[ア]オマデ。	○●▽～●○▽
3-6-2-5w-2	黒 ([ク]ロ)	[ク]ロガ。	[ク]ロニ。	[ク]ロカラ。	[ク]ロマデ。	○●▽～●○▽
3-6-2-5w-3	白 ([シ]ロ)	[シ]ロガ。	[シ]ロニ。	[シ]ロカラ。	[シ]ロマデ。	○●▽～●○▽
3-7-2-1	赤 [ア]カ	[ア]カガ。	[ア]カニ。	[ア]カカラ。	[ア]カマデ。	

※カ[マ(ガ)]は、炭焼きの「窯」。なお、「橋に」は記録が不確かな点があり、推測で補った。

(4) 3拍名詞(言い切り)

	単語	～が	～に	～から	～まで	～からも	～までも
4-3-1-1	煙(ケ[ムリ])	ケ[ムリガ]	ケ[ムリニ]	ケ[ムリカラ]	ケ[ムリマデ]	ケ[ムリカラモ]	ケ[ムリマデモ]
4-3-1-2	踊(オ[ドリ])	オ[ドリガ]	オ[ドリニ]	オ[ドリカラ]	オ[ドリマデ]	オ[ドリカラモ]	オ[ドリマデモ]
4-3-1-3	港(ミ[ナト])	ミ[ナトガ]	ミ[ナトニ]	ミ[ナトカラ]	ミ[ナトマデ]	ミ[ナトカラモ]	ミ[ナトマデモ]
4-3-2-1	女([オンナ])	[オンナガ]	[オンナニ]	[オンナカラ]	[オンナマデ]	[オンナカラモ]	[オンナマデモ]
4-3-2-2	小豆(ア[ズキ])	ア[ズキガ]	ア[ズキニ]	ア[ズキカラ]	ア[ズキマデ]	ア[ズキカラモ]	ア[ズキマデモ]
4-3-4-1	鉞(ハ[サミ])	ハ[サミガ]	ハ[サミニ]	ハ[サミカラ]	ハ[サミマデ]	ハ[サミカラモ]	ハ[サミマデモ]
4-3-4-2	鏡(カ[ガミ])	カ[ガミガ]	カ[ガミニ]	カ[ガミカラ]	カ[ガミマデ]	カ[ガミカラモ]	カ[ガミマデモ]
4-3-4-3	男(オ[トコ])	オ[トコガ]	オ[トコニ]	オ[トコカラ]	オ[トコマデ]	オ[トコカラモ]	オ[トコマデモ]
4-3-5-1	朝日(ア[サ]ヒ)	ア[サ]ヒガ]	ア[サ]ヒニ	ア[サ]ヒカラ	ア[サ]ヒマデ]	ア[サ]ヒカラモ]	ア[サ]ヒマデモ]
4-3-5-2	命(イ[ノ]チ)	イ[ノ]チガ]	イ[ノ]チニ	イ[ノ]チカラ	イ[ノ]チマデ]	イ[ノ]チカラモ]	イ[ノ]チマデモ]
4-3-5-3	心(コ[コロ])	コ[コロガ]	コ[コロニ]	コ[コロカラ]	コ[コロマデ]	コ[コロカラモ]	コ[コロマデモ]
4-3-6-1	兎(ウ[サ]ギ)	ウ[サ]ギガ]	ウ[サ]ギニ	ウ[サ]ギカラ	ウ[サ]ギマデ]	ウ[サ]ギカラモ]	ウ[サ]ギマデモ]
4-3-6-2	オ[サ]ギとも	ウ[サ]ギガ。(新)	ウ[サ]ギニ	ウ[サ]ギカラ	ウ[サ]ギマデ]	ウ[サ]ギカラモ]	ウ[サ]ギマデモ]
4-3-6-2	狐(きつ[ネ])	きつ[ネガ]	きつ[ネニ]	きつ[ネカラ]	きつ[ネマデ]	きつ[ネカラモ]	きつ[ネマデモ]
4-3-6-3	背中(セ[ナカ])	セ[ナカガ]	セ[ナカニ]	セ[ナカカラ]	セ[ナカマデ]	セ[ナカカラモ]	セ[ナカマデモ]
4-3-7-1	兜([カ]ブト)	[カ]ブトガ]	[カ]ブトニ	[カ]ブトカラ	[カ]ブトマデ]	[カ]ブトカラモ]	[カ]ブトマデモ]
4-3-7-2	苺(イチ[ゴ])	イチ[ゴガ]	イチ[ゴニ]	イチ[ゴカラ]	イチ[ゴマデ]	イチ[ゴカラモ]	イチ[ゴマデモ]
4-3-7-3	薬(ク[スリ])	ク[スリガ]	ク[スリニ]	ク[スリカラ]	ク[スリマデ]	ク[スリカラモ]	ク[スリマデモ]

※ケ[ムリカラモ, ケ[ムリマデモ]の他に, ケ[ムリカ]ラモ, ケ[ムリマ]デモにも揺れる。後者の方が後に続く感じがあるという。

なお, 「女の子」は, 古くは「ニョーバ」ンコ。また「オ[ナゴ]ノコ」とも言うが, オナゴ単独ではもう使わないという。

(5) 4拍名詞

	単語	～が	～に	～から	～まで	～からも	～までも
5-01	餅米 (もち[ゴメ])	もち[ゴメガ]	もち[ゴメニ]	もち[ゴメカラ]	もち[ゴメマデ]	もち[ゴメカラモ]	もち[ゴメマデモ]
5-02	友達 (トモダチ)	トモダチガ	トモダチニ	トモダチカラ	トモダチマデ	トモダチカラモ	トモダチマデモ
5-03	懐 (フトコロ) フトコロ	フトコロガ	フトコロニ	フトコロカラ	フトコロマデ	フトコロカラモ	フトコロマデモ
5-04	唇 (ク[チビル]) ク[チビー]	ク[チビルガ]	ク[チビルニ]	ク[チビルカラ]	ク[チビルマデ]	ク[チビルカラモ]	ク[チビルマデモ]
5-05	川上 (カ[ワカミ])	カ[ワカミガ]	カ[ワカミニ]	カ[ワカミカラ]	カ[ワカミマデ]	カ[ワカミカラモ]	カ[ワカミマデモ]
5-06	色紙 (イ[ロガ]ミ)	イ[ロガ]ミガ	イ[ロガ]ミニ	イ[ロガ]ミカラ	イ[ロガ]ミマデ	イ[ロガ]ミカラモ	イ[ロガ]ミマデモ
5-07	雷 (カミ[ナリ]) カミ[ナ]	カミ[ナリガ]	カミ[ナリニ]	カミ[ナリカラ]	カミ[ナリマデ]	カミ[ナリカラモ]	カミ[ナリマデモ]
5-08	米櫃 (コ[メビツ])	コ[メビツガ]	コ[メビツニ]	コ[メビツカラ]	コ[メビツマデ]	コ[メビツカラモ]	コ[メビツマデモ]
5-09	簪 (カン[ザシ])	カン[ザシ]ガ	カン[ザシ]ニ	カン[ザシ]カラ	カン[ザシ]マデ	カン[ザシ]カラモ	カン[ザシ]マデモ
5-10	針金 (ハリ[ガネ]) ハー[ガネ]	ハリ[ガネガ]	ハリ[ガネニ]	ハリ[ガネカラ]	ハリ[ガネマデ]	ハリ[ガネカラモ]	ハリ[ガネマデモ]
5-11	麦藁 (ムギ[ワラ])	ムギ[ワラガ]	ムギ[ワラニ]	ムギ[ワラカラ]	ムギ[ワラマデ]	ムギ[ワラカラモ]	ムギ[ワラマデモ]
5-12	味噌汁 (ミ[ソシ]ル) ミ[ソシ]ー	ミ[ソシ]ルガ	ミ[ソシ]ルニ	ミ[ソシ]ルカラ	ミ[ソシ]ルマデ	ミ[ソシ]ルカラモ	ミ[ソシ]ルマデモ
5-13	雨降り (ア[メフリ])	ア[メフリガ]	ア[メフリニ]	ア[メフリカラ]	ア[メフリマデ]	ア[メフリカラモ]	ア[メフリマデモ]
5-14	前掛け (マエ[カケ])	マエ[カケガ]	マエ[カケニ]	マエ[カケカラ]	マエ[カケマデ]	マエ[カケカラモ]	マエ[カケマデモ]
5-15	鶯 (ウ[グイス])	ウ[グイスガ]	ウ[グイスニ]	ウ[グイスカラ]	ウ[グイスマデ]	ウ[グイスカラモ]	ウ[グイスマデモ]
5-16	撫子 (ナ[デ]シコ)	ナ[デ]シコガ	ナ[デ]シコニ	ナ[デ]シコカラ	ナ[デ]シコマデ	ナ[デ]シコカラモ	ナ[デ]シコマデモ
5-17	風呂敷 (フ[ロシキ])	フ[ロシキガ]	フ[ロシキニ]	フ[ロシキカラ]	フ[ロシキマデ]	フ[ロシキカラモ]	フ[ロシキマデモ]

※ア[メフリ]カラ, ア[メフリ]マデ, ア[メフリ]カラモ に揺れるのは, 上記の注記と同じ現象であろう。ア[メフリ]カラモ はこれだけが出ているが, おそらくア[メフリ]カラモ も存在するであろう。なお, 「色紙」は物自体が新しいという。

(6) 1拍名詞

	単語	～が	～に	～から	～まで	～からも	～までも	～の
6-1-1-1	蚊 ([カ])	カ[ガ]。	カ[ニ]。	カ[カラ]。※	カ[マデ]。	カ[カラモ]。※	カ[マデモ]。※	カ[ノナキゴエ
6-1-1-2	戸 ([ト])	ト[ガ]。	ト[ニ]。	ト[カラ]。※	ト[マデ]。	ト[カラモ]。※	ト[マデモ]。	ト[ノスベリ
6-1-1-3	血 ([チ])	チ[ガ]。	チ[ニ]。	チ[カラ]。※	チ[マデ]。	チ[カラモ]。※	チ[マデモ]。	チ[ノイロ
6-1-2-1	葉 ([ハ])	ハ[ガ]。	ハ[ニ]。	ハ[カラ]。※	ハ[マデ]。	ハ[カラモ]。※	ハ[マデモ]。	ハ[ノイロ
6-1-2-2	日 ([ヒ])	ヒ[ガ]。	ヒ[ニ]。	ヒ[カラ]。※	ヒ[マデ]。	ヒ[カラモ]。	ヒ[マデモ]。	ヒ[ノヒカリ
		ヒ[ガデ]タ。						
6-1-3-1	手 ([テ])	[テ]ガ。	[テ]ニ。	[テ]カラ。	[テ]マデ。	[テ]カラモ。	[テ]マデモ。	[テ]ノナカ
6-1-3-2	目 ([メ])	[メ]ガ。	[メ]ニ。	[メ]カラ。	[メ]マデ。	[メ]カラモ。	[メ]マデモ。	[メ]ノウエ
6-1-3-3	火 ([ヒ])	ヒ[ガ]。	ヒ[ニ]。	ヒ[カラ]ラ。	ヒ[マ]デ。	ヒ[カ]ラモ。	ヒ[マ]デモ。	ヒ[ノ]タマ
		ヒ[ガ]デタ。						ヒ[ノ]イキオイ

※ここでも、カ[カ]ラ、カ[カ]ラモ、カ[マ]デモに揺れる。

(7) 複合語

単語	奥村 1981
7-2-5n	ハル[ヤス]ミ ハル[マツ]リ ハル[サメ (食)]
7-2-2n	ナツ[ヤス]ミ ナツ[マツ]リ ナ[ツクサ]
7-2-1w	カ[ネズ]カイ カ[ネモ]チ カ[ネモチ]
7-2-2w	カ[ワギ]シ カ[ワク]ダリ カ[ワザ]カナ
7-2-3w	シ[オア]ジ シ[オカ]ゲン シ[オケ]
	[ソ]
7-2-4w	タ[ネマ]キ タ[ネツ]ケ タ[ネオ]マ (馬)
7-2-5w	ア[メフ]リ ア[メア]ガリ ア[マモ]リ
	ア[メフ]リ

ここは、カラを付けて語末の核の有無を判定し、核のあるもののみ、語末に「」を付してある。

(8) 2拍名詞 (接続)

	単語	～が	～を	～に	～から
8-2-1w	箱 (ハコ)	ハ[コガア]ル。 (終助詞付きは～[ア]ー)	ハ[コオ作]ッ[タ]。 カキ[オ]食[べ]タ。	ハ[コニ]入[レ]タ。 カ[キニ] (袋オ) 被[ブセ]タ。	ハ[コカラ]出[エ]タ。 カキ[カラ]食[べ]タ。 カキ[カラ]クッ[タ]。が普通 オ[トカラ]覚[ボエ]ル。 カミ[カラ]捨[テ]タ。 イ[モ]カラ (先に) 食[べ]ル。 アシ[カ]揉[ン]ダ。 カ[サ]カラ作[ク]ッ[タ]。 [ウ]ミカラ[吹]イテクル。 (家オ) ア[メ]カラ守[モ]ル。 [へ]ビカラ逃[ゲ]ル。
8-2-1n	柿 (カキ)	カキ[ガア]ル。	カキ[オ]食[べ]タ。	カ[キニ] (袋オ) 被[ブセ]タ。	カキ[カラ]食[べ]タ。 カキ[カラ]クッ[タ]。が普通 オ[トカラ]覚[ボエ]ル。 カミ[カラ]捨[テ]タ。 イ[モ]カラ (先に) 食[べ]ル。 アシ[カ]揉[ン]ダ。 カ[サ]カラ作[ク]ッ[タ]。 [ウ]ミカラ[吹]イテクル。 (家オ) ア[メ]カラ守[モ]ル。 [へ]ビカラ逃[ゲ]ル。
8-2-2w	音 (オト)	オ[トガ]聞[コエ]ー。	オ[トオ]タテ[タ]。	オ[トニ]敏[感]ダ。	オ[トカラ]食[べ]タ。 カキ[カラ]クッ[タ]。が普通 オ[トカラ]覚[ボエ]ル。 カミ[カラ]捨[テ]タ。 イ[モ]カラ (先に) 食[べ]ル。 アシ[カ]揉[ン]ダ。 カ[サ]カラ作[ク]ッ[タ]。 [ウ]ミカラ[吹]イテクル。 (家オ) ア[メ]カラ守[モ]ル。 [へ]ビカラ逃[ゲ]ル。
8-2-2n	紙 (カミ)	カミ[ガナ]エ。	カミ[オ]破[ブ]ッ[タ]。	カミ[ニ]書[イ]タ。	オ[トカラ]食[べ]タ。 カキ[カラ]クッ[タ]。が普通 オ[トカラ]覚[ボエ]ル。 カミ[カラ]捨[テ]タ。 イ[モ]カラ (先に) 食[べ]ル。 アシ[カ]揉[ン]ダ。 カ[サ]カラ作[ク]ッ[タ]。 [ウ]ミカラ[吹]イテクル。 (家オ) ア[メ]カラ守[モ]ル。 [へ]ビカラ逃[ゲ]ル。
8-2-3w	芋 (イモ)	イ[モ]ガ[ア]ル。	イ[モ]オ作[ク]ッ[タ]。	イ[モニ]似[ト]ー。	オ[トカラ]食[べ]タ。 カキ[カラ]クッ[タ]。が普通 オ[トカラ]覚[ボエ]ル。 カミ[カラ]捨[テ]タ。 イ[モ]カラ (先に) 食[べ]ル。 アシ[カ]揉[ン]ダ。 カ[サ]カラ作[ク]ッ[タ]。 [ウ]ミカラ[吹]イテクル。 (家オ) ア[メ]カラ守[モ]ル。 [へ]ビカラ逃[ゲ]ル。
8-2-3n	足 (アシ)	アシ[ガ]痛[テ]。	アシ[オ]揉[ン]ダ]。	アシ[ニ] (薬オ) つ[ケ]タ。	オ[トカラ]食[べ]タ。 カキ[カラ]クッ[タ]。が普通 オ[トカラ]覚[ボエ]ル。 カミ[カラ]捨[テ]タ。 イ[モ]カラ (先に) 食[べ]ル。 アシ[カ]揉[ン]ダ。 カ[サ]カラ作[ク]ッ[タ]。 [ウ]ミカラ[吹]イテクル。 (家オ) ア[メ]カラ守[モ]ル。 [へ]ビカラ逃[ゲ]ル。
8-2-4w	笠 (カサ)	カ[サ]ガ[ア]ル。	カ[サ]オカ[ブ]ッ[タ]。	カ[サニ] (飾りを) つ[ケ]タ。	オ[トカラ]食[べ]タ。 カキ[カラ]クッ[タ]。が普通 オ[トカラ]覚[ボエ]ル。 カミ[カラ]捨[テ]タ。 イ[モ]カラ (先に) 食[べ]ル。 アシ[カ]揉[ン]ダ。 カ[サ]カラ作[ク]ッ[タ]。 [ウ]ミカラ[吹]イテクル。 (家オ) ア[メ]カラ守[モ]ル。 [へ]ビカラ逃[ゲ]ル。
8-2-4n	海 (ウミ)	[ウ]ミガ見[エ]ル。	[ウ]ミオ見[タ]。	[ウ]ミニ行[ッ]タ。	オ[トカラ]食[べ]タ。 カキ[カラ]クッ[タ]。が普通 オ[トカラ]覚[ボエ]ル。 カミ[カラ]捨[テ]タ。 イ[モ]カラ (先に) 食[べ]ル。 アシ[カ]揉[ン]ダ。 カ[サ]カラ作[ク]ッ[タ]。 [ウ]ミカラ[吹]イテクル。 (家オ) ア[メ]カラ守[モ]ル。 [へ]ビカラ逃[ゲ]ル。
8-2-5w	雨 (アメ)	ア[メ]ガ降[ル]。	ア[メ]オ降[ラセ]ル。	ア[メニ]濡[レ]タ。	オ[トカラ]食[べ]タ。 カキ[カラ]クッ[タ]。が普通 オ[トカラ]覚[ボエ]ル。 カミ[カラ]捨[テ]タ。 イ[モ]カラ (先に) 食[べ]ル。 アシ[カ]揉[ン]ダ。 カ[サ]カラ作[ク]ッ[タ]。 [ウ]ミカラ[吹]イテクル。 (家オ) ア[メ]カラ守[モ]ル。 [へ]ビカラ逃[ゲ]ル。
8-2-5n	蛇 (へビ)	[へ]ビガオ[ル]。 (～オー[ワ] おるよ)	[へ]ビオ捕[カマ]エタ。	[へ]ビニ氣[オ]つ[ケ]ル。	オ[トカラ]食[べ]タ。 カキ[カラ]クッ[タ]。が普通 オ[トカラ]覚[ボエ]ル。 カミ[カラ]捨[テ]タ。 イ[モ]カラ (先に) 食[べ]ル。 アシ[カ]揉[ン]ダ。 カ[サ]カラ作[ク]ッ[タ]。 [ウ]ミカラ[吹]イテクル。 (家オ) ア[メ]カラ守[モ]ル。 [へ]ビカラ逃[ゲ]ル。

(9) 3拍名詞 (接続)

	単語	～が	～を	～に	～から
9-3-1	煙 (ケムリ)	ケ[ムリガ]出[タ]。	ケ[ムリオ]出[シ]タ。	ケ[ムリニ]出[タ]。	(家オ) ケ[ムリカラ]守[モ]ル。 [オンナ]カラ (先に) 始[メ]タ。 オ[トコ]カラ (先に) 始[メ]タ。 コ[コロ]カラア[ヤマ]ル。 ウ[サギカラ] (先に) ツ[カマ]エタ。
9-3-2	女 (オンナ)	[オンナ]ガオ[ル]。	[オンナ]オ見[タ]。	[オンナニ]会[ッ]タ。	ウ[サギカラ] (先に) ツ[カマ]エタ。 コ[コロ]カラア[ヤマ]ル。 ウ[サギカラ] (先に) ツ[カマ]エタ。
9-3-4	男 (オトコ)	オ[トコ]ガオ[ル]。	オ[トコ]オ見[タ]。	オ[トコニ]会[ッ]タ。	ウ[サギカラ] (先に) ツ[カマ]エタ。 コ[コロ]カラア[ヤマ]ル。 ウ[サギカラ] (先に) ツ[カマ]エタ。
9-3-5	心 (ココロ)	コ[コロ]ガ優[サシ]ー。	コ[コロ]オ入[れ]替[エ]ル。	コ[コロニ]ヒ[ビ]ータ。	ウ[サギカラ] (先に) ツ[カマ]エタ。 コ[コロ]カラア[ヤマ]ル。 ウ[サギカラ] (先に) ツ[カマ]エタ。
9-3-6	兎 (ウサギ)	ウ[サギガ]居[ル]。	ウ[サギオ]飼[ッ]トー。 ([飼]ッ) ヨーもあるが)	ウ[サギニ]エ[サ]オヤ([])ル。	ウ[サギカラ] (先に) ツ[カマ]エタ。 コ[コロ]カラア[ヤマ]ル。 ウ[サギカラ] (先に) ツ[カマ]エタ。
9-3-7	兜 (カブト)	[カ]ブトガア[ル]。	[カ]ブトオカ[ブ]ッ[タ]。	[カ]ブトニ (飾りを) つ[ケ]タ。	[カ]ブトカラ始[メ]タ。 コ[コロ]カラア[ヤマ]ル。 ウ[サギカラ] (先に) ツ[カマ]エタ。

4. 3 仁多郡奥出雲町横田のアクセント資料

(1) 2拍名詞 (第2拍広母音)

	単語	～が	～に	～から	～まで	～からも	～までも	～の	奥村 1981
1-2-1w-1	風 (カ[ゼ])	カ[ゼガ]。	カ[ゼニ]。	カ[ゼカラ]。	カ[ゼマデ]。	カ[ゼカラモ]。 ※	カ[ゼマデモ]。 ※	カ[ゼノオト]	○●▼
1-2-1w-2	箱 (ハ[コ])	ハ[コガ]。	ハ[コニ]。	ハ[コカラ]。	ハ[コマデ]。	ハ[コカラモ]。 ※	ハ[コマデモ]。 ※	ハ[コノナ]カ	○●▼
1-2-2w-1	音 (オ[ト])	オ[トガ]。	オ[トニ]。	オ[トカラ]。	オ[トマデ]。	オ[トカラモ]。 ※	オ[トマデモ]。 ※	オ[トノオーキサ]	○●▼
1-2-2w-2	胸 (ム[ネ])	ム[ネガ]。	ム[ネニ]。	1 ム[ネカラ]。	ム[ネマデ]。	ム[ネカラモ]。 ※	ム[ネマデモ]。 ※	ム[ネノマ]エ	○●▼
1-2-2w-3	歌 (ウ[タ])	ウ[タガ]。	ウ[タニ]。	ウ[タカラ]。	ウ[タマデ]。	ウ[タカラモ]。	ウ[タマデモ]。	ウ[タ]ノ[ホ]ン	○●▽
1-2-3w-1	芋 (イ[モ]) エ[モ]	イ[モガ]。	イ[モニ]。	イ[モカラ]。	イ[モマデ]。	イ[モカラモ]。	イ[モマデモ]。	イ[モ]ノツ[ル]	○●▽
1-2-3w-2	米 (コ[メ])	コ[メガ]。	コ[メニ]。	コ[メカラ]。	コ[メマデ]。	コ[メカラモ]。	コ[メマデモ]。	コ[メ]ノデ[キ]	○●▽
1-2-4w-1	笠 ([カ]サ)	[カ]サガ]。	[カ]サニ]。	[カ]サカラ]。	[カ]サマデ]。	[カ]サカラモ]。	[カ]サマデモ]。	[カ]サノホ[ネ]	○●▽
1-2-4w-2	舟 (フ[ネ])	フ[ネガ]。	フ[ネニ]。	フ[ネカラ]。	フ[ネマデ]。	フ[ネカラモ]。	フ[ネマデモ]。	フ[ネ]ノウ[エ]	○●▽
1-2-5w-1	雨 ([ア]メ)	[ア]メガ]。	[ア]メニ]。	[ア]メカラ]。	[ア]メマデ]。	[ア]メカラモ]。	[ア]メマデモ]。	[ア]メノ[ナ]カ	○●▽
1-2-5w-2	井戸 (イ[ド])	イ[ドガ]。	イ[ドニ]。	イ[ドカラ]。	イ[ドマデ]。	イ[ドカラモ]。	イ[ドマデモ]。	イ[ド]ノ[マ]エ	○●▽

※これが本来と見られるが、しばしばカ[ゼカラ]モ、カ[ゼマデ]モにも揺れる。有核語でも、コ[メ]カラ]モ、[カ]サカラ]モが頻出する。

(2) 2拍名詞 (第2拍狭母音)

	単語	～が	～に	～から	～まで	～からも	～までも	～の	奥村 1981
2-2-1n-1	柿 (カ[キ])	カキ[ガ]。	カ[キニ]。	カキ[カラ]。※	カキ[マデ]。	カキ[カラ]モ。	カキ[マデ]モ。	カキ[ノ]ヘタ	○○▼
2-2-1n-2	海老 (エ[ビ])	エビ[ガ]。	エ[ビニ]。	エビ[カラ]。※	エビ[マデ]。	エビ[カラ]モ。	エビ[マデ]モ。	エビ[ノ]カラ	○○▼
2-2-2n-1	紙 (カ[ミ])	カミ[ガ]。	カミ[ニ]。 カ[ミニ]。	カミ[カラ]。※	カミ[マデ]。※	カミ[カラ]モ。	カミ[マデ]モ。※	カミ[ノ]ウエ	○○▼
2-2-2n-2	屋 (ヒ[ル])	ヒル[ガ]。	ヒル[ニ]。 ヒ[ルニ]。	ヒル[カラ]。※	ヒル[マデ]。※	ヒル[カラ]モ。	ヒル[マデ]モ。	ヒル[ノ]シゴト	○○▼
2-2-3n-1	足 (ア[シ])	アシ[ガ]。	アシ[ニ]。	アシ[カラ]。	アシ[マデ]。	アシ[カラ]モ。	アシ[マデ]モ。	アシ[ノ]ウラ	○○▼
2-2-3n-2	耳 (ミ[ミ])	ミミ[ガ]。	ミミ[ニ]。 ミ[ミニ]。	ミミ[カラ]。	ミミ[マデ]。	ミミ[カラ]モ。	ミミ[マデ]モ。	アシ[ノ]ユ[ビ] ミミ[ノ]ナ[カ] ミミ[ノ]ナ[カ]	○○▼
2-2-4n-1	松 ([マ]ツ)	[マ]ツガ。	[マ]ツニ。	[マ]ツカラ。	[マ]ツマデ。	[マ]ツカラモ。	[マ]ツマデモ。	[マ]ツノエ[ダ]	○○▼
2-2-4n-2	海 ([ウ]ミ)	[ウ]ミガ。	[ウ]ミニ。	[ウ]ミカラ。	[ウ]ミマデ。	[ウ]ミカラモ。	[ウ]ミマデモ。	[ウ]ミノ[ナ]カ	○○▼
2-2-5n-1	猿 ([サ]ル)	[サ]ルガ。	[サ]ルニ。	[サ]ルカラ。	[サ]ルマデ。	[サ]ルカラモ。	[サ]ルマデモ。	[サ]ルノシツ[ボ]	●○▽
2-2-5n-2	鶴 ([ツ]ル)	[ツ]ルガ。	[ツ]ルニ。	[ツ]ルカラ。	[ツ]ルマデ。	[ツ]ルカラモ。	[ツ]ルマデモ。	[ツ]ルノハ[ネ]	●○▽
2-2-5n-3	蛇 ([ヘ]ビ)	[ヘ]ビガ。	[ヘ]ビニ。	[ヘ]ビカラ。	[ヘ]ビマデ。	[ヘ]ビカラモ。	[ヘ]ビマデモ。	[ヘ]ビノヌ[ケ]ガラ	●○▽

※ これが本来と見られるが、しばしば ヒル[カラ]、カミ[カラ]モ、カミ[マデ]モ にも揺れる。なお、[ヘ]ビカラ]モ、[ヘ]ビマデ]モも頻出する。

(3) 2拍名詞 (3-6のみ調査。無印は未調査。)

	単語	へが	へに	へから	へまで	奥村 1981
3-1-2-1w	飴 (アメ)	アメガ。	アメニ。	アメカラ。	アメマデ。	○●▼
3-1-2-5w	雨 (アメ)	アメガ。	アメニ。	アメカラ。	アメマデ。	○●▽
3-2-2-1w	釜 (カマ)	カマガ。	カマニ。	カマカラ。	カママデ。	○●▼
3-2-2-4w	鎌 (カマ)	カマガ。	カマニ。	カマカラ。	カママデ。	○●▽
3-3-2-1n	端 (ハシ)	ハシガ。	ハシニ。	ハシカラ。	ハシマデ。	○○▼
3-3-2-2n	橋 (ハシ)	ハシガ。	ハシニ。	ハシカラ。	ハシマデ。	○○▼
3-3-2-4n	箸 (ハシ)	ハシガ。	ハシニ。	ハシカラ。	ハシマデ。	●○▽
3-4-2-2n	紙 (カミ)	カミガ。	カミニ。	カミカラ。	カミマデ。	○○▼
3-4-2-3n	髪 (カミ)	カミガ。	カミニ。	カミカラ。	カミマデ。	○○▼
3-5-2-1n	霧 (キリ)	キリガ。	キリニ。	キリカラ。	キリマデ。	—
3-5-2-4n	錐 (キリ)	キリガ。	キリニ。	キリカラ。	キリマデ。	○○▼
3-6-2-5w-1	青 ([ア]オ)	[ア]オガ。	[ア]オニ。	[ア]オカラ。	[ア]オマデ。	○●▽~●○▽
3-6-2-5w-2	黒 ([ク]ロ)	[ク]ロガ。	[ク]ロニ。	[ク]ロカラ。	[ク]ロマデ。	○●▽~●○▽
3-6-2-5w-3	白 ([シ]ロ)	[シ]ロガ。	[シ]ロニ。	[シ]ロカラ。	[シ]ロマデ。	○●▽~●○▽
3-7-2-1	赤 [ア]カ	[ア]カガ。	[ア]カニ。	[ア]カカラ。	[ア]カマデ。	

(4) 3拍名詞(言い切り)

	単語	～が	～に	～から	～まで	～からも	～までも
4-3-1-1	煙(ケ[ムリ])	ケ[ムリガ]	ケ[ムリニ]	ケ[ムリカラ]	ケ[ムリマデ]	ケ[ムリカラモ]	ケ[ムリマデモ]
4-3-1-2	踊(オ[ドリ])	オ[ドリガ]	オ[ドリニ]	オ[ドリカラ]	オ[ドリマデ]	オ[ドリカラモ]	オ[ドリマデモ]
4-3-1-3	港(ミ[ナト])	ミ[ナトガ]	ミ[ナトニ]	ミ[ナトカラ]	ミ[ナトマデ]	ミ[ナトカラモ]	ミ[ナトマデモ]
4-3-2-1	女(オ[オンナ]) オ[ナゴ]	[オンナ]ガ	[オンナ]ニ	[オンナ]カラ	[オンナ]マデ	[オンナ]カラモ	[オンナ]マデモ
4-3-2-2	小豆(ア[ズキ])	ア[ズキガ]	ア[ズキニ]	ア[ズキカラ]	ア[ズキマデ]	ア[ズキカラモ]	ア[ズキマデモ]
4-3-4-1	鉢(ハ[サミ])	ハ[サミガ]	ハ[サミニ]	ハ[サミカラ]	ハ[サミマデ]	ハ[サミカラモ]	ハ[サミマデモ]
4-3-4-2	鏡(カ[ガミ])	カ[ガミ]ガ	カ[ガミ]ニ	カ[ガミ]カラ	カ[ガミ]マデ	カ[ガミ]カラモ	カ[ガミ]マデモ
4-3-4-3	男(オ[トコ])	オ[トコ]ガ	オ[トコ]ニ	オ[トコ]カラ	オ[トコ]マデ	オ[トコ]カラモ	オ[トコ]マデモ
4-3-5-1	朝日(ア[サ]ヒ)	ア[サ]ヒガ	ア[サ]ヒニ	ア[サ]ヒカラ	ア[サ]ヒマデ	ア[サ]ヒカラモ	ア[サ]ヒマデモ
4-3-5-2	命(イ[ノ]チ)	イ[ノ]チガ	イ[ノ]チニ	イ[ノ]チカラ	イ[ノ]チマデ	イ[ノ]チカラモ	イ[ノ]チマデモ
4-3-5-3	心(コ[コロ])	コ[コロ]ガ	コ[コロ]ニ	コ[コロ]カラ	コ[コロ]マデ	コ[コロ]カラモ	コ[コロ]マデモ
4-3-6-1	兎(ウ[サ]ギ) ウ[サギ]	ウ[サ]ギガ	ウ[サ]ギニ	ウ[サ]ギカラ	ウ[サ]ギマデ	ウ[サ]ギカラモ	ウ[サ]ギマデモ
4-3-6-2	狐(きつ[ネ])	きつ[ネ]ガ	きつ[ネ]ニ	きつ[ネ]カラ	きつ[ネ]マデ	きつ[ネ]カラモ	きつ[ネ]マデモ
4-3-6-3	背中(セ[ナカ])	セ[ナカガ]	セ[ナカニ]	セ[ナカカラ]	セ[ナカマデ]	セ[ナカカラモ]	セ[ナカマデモ]
4-3-7-1	兜([カ]ブト)	[カ]ブトガ	[カ]ブトニ	[カ]ブトカラ	[カ]ブトマデ	[カ]ブトカラモ	[カ]ブトマデモ
4-3-7-2	葎(イチ[ゴ])	イチ[ゴ]ガ	イチ[ゴ]ニ	イチ[ゴ]カラ	イチ[ゴ]マデ	イチ[ゴ]カラモ	イチ[ゴ]マデモ
4-3-7-3	葉(ク[スリ])	ク[スリガ]	ク[スリニ]	ク[スリカラ]	ク[スリマデ]	ク[スリカラモ]	ク[スリマデモ]

しばしば(特に有核語において)カラモとマデモの場合に、オ[トコ]カラモ、イ[ノ]チマデ]モ を記録している。

なお、女の子は[ニョーバ]ンコ で、その対は オ[トコ]ンコ。

(5) 4拍名詞

	単語	～が	～に	～から	～まで	～からも	～までも
5-01	餅米 (もち[ゴメ])	もち[ゴメガ]。	もち[ゴメニ]。	もち[ゴメカラ]。	もち[ゴメマデ]。	もち[ゴメカラモ]。	もち[ゴメマデモ]。
5-02	友達 (トモダチ)	トモダチガ。	トモダチニ。	トモダチカラ。	トモダチマデ。	トモダチカラモ。	トモダチマデモ。
5-03	懐 (フ[トコロ])	フ[トコロガ]。	フ[トコロニ]。	フ[トコロカラ]。	フ[トコロマデ]。	フ[トコロカラモ]。	フ[トコロマデモ]。
5-04	唇 (ク[チビル])	ク[チビルガ]。	ク[チビルニ]。	ク[チビルカラ]。	ク[チビルマデ]。	ク[チビルカラモ]。	ク[チビルマデモ]。
5-05	川上 (カ[ワカミ])	カ[ワカミガ]。	カ[ワカミニ]。	カ[ワカミカラ]。	カ[ワカミマデ]。	カ[ワカミカラモ]。	カ[ワカミマデモ]。
5-06	色紙 (イ[ロガ]ミ)	イ[ロガ]ミガ。	イ[ロガ]ミニ。	イ[ロガ]ミカラ。	イ[ロガ]ミマデ。	イ[ロガ]ミカラモ。	イ[ロガ]ミマデモ。
5-07	雷 (カミ[ナリ] カン[ナー])	カミ[ナリガ]。	カミ[ナリニ]。	カミ[ナリカラ]。	カミ[ナリマデ]。	カミ[ナリカラモ]。	カミ[ナリマデモ]。
5-08	米櫃 (コ[メビツ])	コ[メビツガ]。	コ[メビツニ]。	コ[メビツカラ]。	コ[メビツマデ]。	コ[メビツカラモ]。	コ[メビツマデモ]。
5-09	簞 ([カンザシ])	[カンザシガ]。	[カンザシニ]。	[カンザシカラ]。	[カンザシマデ]。	[カンザシカラモ]。	[カンザシマデモ]。
5-10	針金 (ハリ[ガネ])	ハリ[ガネガ]。	ハリ[ガネニ]。	ハリ[ガネカラ]。	ハリ[ガネマデ]。	ハリ[ガネカラモ]。	ハリ[ガネマデモ]。
5-11	麦藁 (ムギ[ワラ])	ムギ[ワラガ]。	ムギ[ワラニ]。	ムギ[ワラカラ]。	ムギ[ワラマデ]。	ムギ[ワラカラモ]。	ムギ[ワラマデモ]。
5-12	味噌汁 (ミ[ソシ]ル) ミ[ソシ]ー	ミ[ソシ]ルガ。	ミ[ソシ]ルニ。	ミ[ソシ]ルカラ。	ミ[ソシ]ルマデ。	ミ[ソシ]ルカラモ。	ミ[ソシ]ルマデモ。
5-13	雨降り (ア[メフ]リ)	ア[メフ]リガ。	ア[メフ]リニ。	ア[メフ]リカラ。	ア[メフ]リマデ。	ア[メフ]リカラモ。	ア[メフ]リマデモ。
5-14	前掛け ([マエカケ])	[マエカケガ]。	[マエカケニ]。	[マエカケカラ]。	[マエカケマデ]。	[マエカケカラモ]。	[マエカケマデモ]。
5-15	鶯 (ウ[グ]イス)	ウ[グ]イスガ。	ウ[グ]イスニ。	ウ[グ]イスカラ。	ウ[グ]イスマデ。	ウ[グ]イスカラモ。	ウ[グ]イスマデモ。
5-16	撫子 (ナ[デ]シコ)	ナ[デ]シコガ。	ナ[デ]シコニ。	ナ[デ]シコカラ。	ナ[デ]シコマデ。	ナ[デ]シコカラモ。	ナ[デ]シコマデモ。
5-17	風呂敷 (フ[ロシキ])	フ[ロシキガ]。	フ[ロシキニ]。	フ[ロシキカラ]。	フ[ロシキマデ]。	フ[ロシキカラモ]。	フ[ロシキマデモ]。

(6) 1 拍名詞

単語	～が	～に	～から	～まで	～からも	～までも	～の
6-1-1-1 蚊 ([カ])	カ[ガ]。	カ[ニ]。	カ[カラ]。	カ[マデ]。	カ[カラ]モ。	カ[マデ]モ。	カ[ノナ]きゴエ
6-1-1-2 戸 ([ト])	ト[ガ]。	ト[ニ]。	ト[カラ]。	ト[マデ]。	ト[カラ]モ。	ト[マデ]モ。	ト[ノス]ベリ
6-1-1-3 血 ([チ])	チ[ガ]。	チ[ニ]。	チ[カラ]。	チ[マデ]。	チ[カラ]モ。	チ[マデ]モ。	チ[ノイ]ロ
6-1-2-1 葉 ([ハ])	ハ[ガ]。	ハ[ニ]。	ハ[カラ]。	ハ[マデ]。	ハ[カラ]モ。	ハ[マデ]モ。	ハ[ノイ]ロ
6-1-2-2 日 ([ヒ])	ヒ[ガ]。	ヒ[ニ]。	ヒ[カラ]。	ヒ[マデ]。	ヒ[カラ]モ。	ヒ[マデ]モ。	ヒ[ノヒ]カリ
6-1-3-1 手 ([テ])	ヒ[ガ]デ]タ。 [テ]ガ。	[テ]ニ。	[テ]カラ。	[テ]マデ。	[テ]カラモ。	[テ]マデモ。	[テ]ノ[ナ]カ
6-1-3-2 目 ([メ])	[メ]ガ。	[メ]ニ。	[メ]カラ。	[メ]マデ。	[メ]カラモ。	[メ]マデモ。	[メ]ノウ[エ]
6-1-3-3 火 ([ヒ])	ヒ[ガ]。 [ヒ]ガ。	[ヒ]ニ。	ヒ[カラ]。	ヒ[マデ]。 [ヒ]マデ。	ヒ[カラ]モ。 ヒ[カ]ラモ。	ヒ[マデ]モ。 [ヒ]マデモ。	ヒ[ノ]タマ ヒ[ノ]ナカ

マデモが付いたときの音調については、(1)の注記を参照。また、[テ]マデ]モ、[ヒ]マデ]モ も聞かれる。

(7) 複合語

単語	奥村 1981		
7-2-5n 春 ([ハ]ル)	ハル[ヤス]ミ	ハル[マツ]リ	ハル[サ]メ ●○▽
7-2-2n 夏 ([ナ]ツ)	ナツ[ヤス]ミ	ナツ[マツ]リ	ナ[ツク]サ ○●▽
7-2-1w 金 (カ[ネ])	カ[ネズ]カイ	カ[ネ]モ一ケ カ[ネ]モ一ケ	カ[ネ]モち ○●▼
7-2-2w 川 (カ[ワ])	カ[ワ]ギシ	カ[ワ]クダリ	カ[ワ]ザカナ ○●▼
7-2-3w 塩 (シ[オ]) [ツシヨ]	シ[オ]ア]ジ	シ[オ]カゲ]ン	カ[ワ]ザカ]ナ シ[オ]ケ ○●▽
7-2-4w 種 (タ[ネ])	タ[ネ]マ]き	タ[ネ]ツケ]	タ[ネ]ウマ ○●▽
7-2-5w 雨 ([ア]メ)	ア[メ]フ]リ	ア[メ]アガ]リ	ア[メ]モ]リ ○●▽

ここは、カラを付けて語末の核の有無を判定し、核のあるもののみ、語末に] を付してある。なお、[シヨ一カ]イ (塩辛い) という形はある。

(8) 2拍名詞 (接続)

	単語	～が	～を	～に	～から
8-2-1w	箱 (ハコ)	ハ[コガア]ル。 ～[ア]ーヨ (あるよ)	ハ[ココ]作[クツ]タ。 カキ[オ食]ベタ。 オ[トオ]タ[テ]タ。 カミ[オ破]ヅ[タ]タ。 イ[モ]オ[ク]ツ[タ]タ。 ア[シ]オ[揉]ンダ。 (アッ[ショ]に近い)	ハ[コニ]入[レ]タ。 カ[キニ] (袋オ) 被[ブセ]タ。 オ[トニ]敏感ダ。 カミ[ニ書]イタ。 イ[モ]ニ似[チョー]。 ア[シ]ニ (薬オ) つ[ケ]タ。 [カ]サニ (飾りを) つ[ケ]タ。 [ウ]ミニ行[ツ]タ。 [ア]メニ濡[レ]タ。 [へ]ビニ気(き)[オツケ]ル。	ハ[コカラ]出[エ]タ。 カキ[カラ食]ベタ。 オ[トカラ]覚[ボエ]ル。 カミ[カラ捨]テタ。 イ[モ]カラ (先に) 食[ベ]ル。 ア[シ]カラ[揉]ンダ。 [カ]サカラつ[クツ]タ。 [ウ]ミカラ[吹]イテク[ル]。 (家オ) [ア]メカラ守[モ]ル。 [へ]ビカラ逃[ゲ]ル。
8-2-1n	柿 (カキ)	カキ[ガア]ル。	カキ[オ食]ベタ。	カ[キニ] (袋オ) 被[ブセ]タ。	カキ[カラ食]ベタ。
8-2-2w	音 (オト)	オ[トガ]聞[コエ]ー。	オ[トオ]タ[テ]タ。	オ[トニ]敏感ダ。	オ[トカラ]覚[ボエ]ル。
8-2-2n	紙 (カミ)	カミ[ガナ]エ。	カミ[オ破]ヅ[タ]タ。	カミ[ニ書]イタ。	カミ[カラ捨]テタ。
8-2-3w	芋 (イモ)	イ[モ]ガ[ア]ル。	イ[モ]オ[ク]ツ[タ]タ。	イ[モ]ニ似[チョー]。	イ[モ]カラ (先に) 食[ベ]ル。
8-2-3n	足 (アシ)	ア[シ]ガ[痛]タ[エ]。	ア[シ]オ[揉]ンダ。 (アッ[ショ]に近い)	ア[シ]ニ (薬オ) つ[ケ]タ。	ア[シ]カラ[揉]ンダ。
8-2-4w	笠 (カサ)	[カ]サガ[ア]ル。	[カ]サオカ[ブツ]タ。	[カ]サニ (飾りを) つ[ケ]タ。	[カ]サカラつ[クツ]タ。
8-2-4n	海 (ウミ)	[ウ]ミガ[見]エ[ル]。	[ウ]ミオ[見]タ。	[ウ]ミニ行[ツ]タ。	[ウ]ミカラ[吹]イテク[ル]。
8-2-5w	雨 (アメ)	[ア]メガ[降]ル。	[ア]メオ降[ラセ]ル。	[ア]メニ濡[レ]タ。	(家オ) [ア]メカラ守[モ]ル。
8-2-5n	蛇 (へビ)	[へ]ビガオ[ル]。 ～オー[ヨ (おるよ)]	[へ]ビオ捕[カマ]エタ。	[へ]ビニ気(き)[オツケ]ル。	[へ]ビカラ逃[ゲ]ル。

(9) 3拍名詞 (接続)

	単語	～が	～を	～に	～から
9-3-1	煙 (ケムリ)	ケ[ムリ]ガ出[タ]タ。	ケ[ムリ]オ出[シ]タ。	ケ[ムリニ]ナツ[タ]タ。	(家オ) ケ[ムリカラ] (口) 守[D]モ[ル]。 [オシ]ニ [ケ]ル。
9-3-2	女 (オンナ)	[オンナ]ガオ[ル]。	[オンナ]オ[見]タ。	[オンナ]ニ[会ツ]タ。	[オンナ]カラ (先に) 始[メ]タ。
9-3-4	男 (オトコ)	オ[トコ]ガオ[ル]。	オ[トコ]オ[見]タ。	オ[トコ]ニ[会ツ]タ。	オ[トコ]カラ (先に) 始[メ]タ。
9-3-5	心 (ココロ)	コ[コロ]ガ優[サシ]ー。	コ[コロ]オ入[レ]替[エ]ル。	コ[コロ]ニヒ[ビ]ータ。	コ[コロ]カラア[ヤマ]ル。
9-3-6	兎 (ウサギ)	ウ[サ]ギガ居[ル]。	ウ[サ]ギオ[カ]ー[チョー]。 (飼っている)	ウ[サ]ギニ[エ] [サ]オヤ[ル]。 ウ[サ]ギニ (先に) ツ[ケ]タ。	ウ[サ]ギカラ (先に) ツ[ケ]タ。 ウ[サ]ギカラ (先に) ツ[ケ]タ。
9-3-7	兜 (カブト)	[カ]ブトガ[ア]ル。	[カ]ブトオカ[ブツ]タ。	[カ]ブトニ (飾りを) つ[ケ]タ。	[カ]ブトカラ始[メ]タ。

4. 4 安来市広瀬のアクセント資料

(1) 2拍名詞 (第2拍広母音)

	単語	～が	～に	～から	～まで	～からも	～までも	～の	奥村 1981
1-2-1w-1	風 (カ[ゼ])	カ[ゼ]ガ。	カ[ゼ]ニ。	カ[ゼ]カラ。	カ[ゼ]マデ。	カ[ゼ]カラモ。	カ[ゼ]マデモ。	カ[ゼ]ノオト	○●▼
1-2-1w-2	箱 (ハ[コ])	ハ[コ]ガ。	ハ[コ]ニ。	ハ[コ]カラ。	ハ[コ]マデ。	ハ[コ]カラモ。	ハ[コ]マデモ。	ハ[コ]ノナ[カ]	○●▼
1-2-2w-1	音 (オ[ト])	オ[ト]ガ。	オ[ト]ニ。	オ[ト]カラ。	オ[ト]マデ。	オ[ト]カラモ。	オ[ト]マデモ。	オ[ト]ノオーキサ	○●▼
1-2-2w-2	胸 (ム[ネ])	ム[ネ]ガ。	ム[ネ]ニ。	ム[ネ]カラ。	ム[ネ]マデ。	ム[ネ]カラモ。	ム[ネ]マデモ。	ム[ネ]ノマ[エ]	○●▼
1-2-2w-3	歌 (ウ[タ])	ウ[タ]ガ。	ウ[タ]ニ。	ウ[タ]カラ。	ウ[タ]マデ。	ウ[タ]カラモ。	ウ[タ]マデモ。	ウ[タ]ノホ[ン]	○●▼
1-2-3w-1	芋 (イ[モ])	イ[モ]ガ。	イ[モ]ニ。	イ[モ]カラ。	イ[モ]マデ。	イ[モ]カラモ。	イ[モ]マデモ。	イ[モ]ノツ[ル]	○●▼
1-2-3w-2	米 (コ[メ])	コ[メ]ガ。	コ[メ]ニ。	コ[メ]カラ。	コ[メ]マデ。	コ[メ]カラモ。	コ[メ]マデモ。	コ[メ]ノデ[キ]	○●▼
1-2-4w-1	笠 ([カ]サ)	[カ]サガ。	[カ]サニ。	[カ]サカラ。	[カ]サマデ。	[カ]サカラモ。	[カ]サマデモ。	[カ]サノホ[ネ]	○●▼
1-2-4w-2	舟 (フ[ネ])	フ[ネ]ガ。	フ[ネ]ニ。	フ[ネ]カラ。	フ[ネ]マデ。	フ[ネ]カラモ。	フ[ネ]マデモ。	フ[ネ]ノウ[エ]	○●▼
1-2-5w-1	雨 ([ア]メ)	[ア]メガ。	[ア]メニ。	[ア]メカラ。	[ア]メマデ。	[ア]メカラモ。	[ア]メマデモ。	[ア]メノ[ナ]カ	○●▼
1-2-5w-2	井戸 (イ[ド])	イ[ド]ガ。	イ[ド]ニ。	イ[ド]カラ。	イ[ド]マデ。	イ[ド]カラモ。	イ[ド]マデモ。	イ[ド]ノ[マ]エ	○●▼

(2) 2拍名詞 (第2拍狭母音)

	単語	～が	～に	～から	～まで	～からも	～までも	～の	奥村 1981
2-2-1n-1	柿 (カ[キ])	カキ[ガ]。	カ[キ]ニ。	カキ[カラ]。	カキ[マデ]。	カキ[カラ]モ。	カキ[マデ]モ。	カキ[ノ]ヘタ	○○▼
2-2-1n-2	海老 (エ[ビ])	エビ[ガ]。	エ[ビ]ニ。	エビ[カラ]。	エビ[マデ]。	エビ[カラ]モ。	エビ[マデ]モ。	エビ[ノ]カ[ラ]	○○▼
2-2-2n-1	紙 (カ[ミ])	カミ[ガ]。	カ[ミ]ニ。	カミ[カラ]。	カミ[マデ]。	カミ[カラ]モ。	カミ[マデ]モ。	カミ[ノ]ウエ	○○▼
2-2-2n-2	昼 (ヒ[ル])	ヒル[ガ]。	ヒ[ル]ニ。	ヒル[カラ]。	ヒル[マデ]。	ヒル[カラ]モ。	ヒル[マデ]モ。	ヒル[ノ]シゴト	○○▼
2-2-3n-1	足 (ア[シ])	アシ[ガ]。	ア[シ]ニ。	アシ[カラ]。	アシ[マデ]。	アシ[カラ]モ。	アシ[マデ]モ。	アシ[ノ]ウラ	○○▼
2-2-3n-2	耳 (ミ[ミ])	ミミ[ガ]。	ミ[ミ]ニ。	ミミ[カラ]。	ミミ[マデ]。	ミミ[カラ]モ。	ミミ[マデ]モ。	ミミ[ノ]ナ[カ]	○○▼
2-2-4n-1	松 ([マ]ツ)	[マ]ツガ。	[マ]ツニ。	[マ]ツカラ。	[マ]ツマデ。	[マ]ツカラモ。	[マ]ツマデモ。	[マ]ツノエ[ダ]	○○▼
2-2-4n-2	海 ([ウ]ミ)	[ウ]ミガ。	[ウ]ミニ。	[ウ]ミカラ。	[ウ]ミマデ。	[ウ]ミカラモ。	[ウ]ミマデモ。	[ウ]ミノナ[カ]	○○▼
2-2-5n-1	猿 ([サ]ル)	[サ]ルガ。	[サ]ルニ。	[サ]ルカラ。	[サ]ルマデ。	[サ]ルカラモ。	[サ]ルマデモ。	[サ]ルノシツ[ボ]	●○○▽
2-2-5n-2	鶴 ([ツ]ル)	[ツ]ルガ。	[ツ]ルニ。	[ツ]ルカラ。	[ツ]ルマデ。	[ツ]ルカラモ。	[ツ]ルマデモ。	[ツ]ルノハ[ネ]	●○○▽
2-2-5n-3	蛇 ([ヘ]ビ)	[ヘ]ビガ。	[ヘ]ビニ。	[ヘ]ビカラ。	[ヘ]ビマデ。	[ヘ]ビカラモ。	[ヘ]ビマデモ。	[ヘ]ビノヌ[ケガラ]	●○○▽

(3) 2拍名詞

	単語	〜が	〜に	〜から	〜まで	奥村 1981
3-1-2-1w	飴 (ア[メ])	ア[メガ]。	ア[メニ]。	ア[メカラ]。	ア[メマデ]。	○●▼
3-1-2-5w	雨 ([ア]メ)	[ア]メガ。	[ア]メニ。	[ア]メカラ。	[ア]メマデ。	○●▽
3-2-2-1w	釜 (カ[マ])	カ[マガ]。	カ[マニ]。	カ[マカラ]。	カ[ママデ]。	○●▼
3-2-2-4w	鎌 ([カ]マ)	[カ]マガ。	[カ]マニ。	[カ]マカラ。	[カ]ママデ。	○●▽
3-3-2-1n	端 (ハ[シ])	ハシ[ガ]。	ハシ[ニ]。	ハシ[カラ]。	ハシ[マデ]。	○●▼
3-3-2-2n	橋 (ハ[シ])	ハシ[ガ]。	ハシ[ニ]。	ハシ[カラ]。	ハシ[マデ]。	○●▼
3-3-2-4n	箸 ([ハ]シ)	[ハ]しガ。	[ハ]しニ。	[ハ]しカラ。	[ハ]しまデ。	●○▽
3-4-2-2n	紙 (カ[ミ])	カミ[ガ]。	カ[ミニ]。	カミ[カラ]。	カミ[マデ]。	○●▼
3-4-2-3n	髪 (カ[ミ])	カミ[ガ]ア]ル。 カミ[ガ]。カ[ミ]ガ。 カミ[ガ]ア]ル。	カ[ミニ]。	カミ[カラ]。	カミ[マデ]。 カ[ミ]マデ	○●▼
3-5-2-1n	霧 (キ[リ])	キリ[ガ]。	キ[リニ]。	キリ[カラ]。	キリ[マデ]。	—
3-5-2-4n	錐 ([キ]リ)	[キ]リガ。	[キ]リニ。	[キ]リカラ。	[キ]リマデ。	○●▼
3-6-2-5w-1	青 ([ア]オ)	[ア]オガ。	[ア]オニ。	[ア]オカラ。	[ア]オマデ。	○●▽~●○▽
3-6-2-5w-2	黒 ([ク]ロ)	[ク]ロガ。	[ク]ロニ。	[ク]ロカラ。	[ク]ロマデ。	○●▽~●○▽
3-6-2-5w-3	白 ([シ]ロ)	[シ]ロガ。	[シ]ロニ。	[シ]ロカラ。	[シ]ロマデ。	○●▽~●○▽
	赤 [ア]カ	[ア]カガ。	[ア]カニ。	[ア]カカラ。	[ア]カマデ。	

(4) 3拍名詞(言い切り)

	単語	～が	～に	～から	～まで	～からも	～までも
4-3-1-1	煙(ケ[ムリ])	ケ[ムリ]ガ。	ケ[ムリ]ニ。	ケ[ムリ]カラ。	ケ[ムリ]マデ。	ケ[ムリ]カラモ。	ケ[ムリ]マデモ。
4-3-1-2	踊(オ[ドリ])	オ[ドリ]ガ。	オ[ドリ]ニ。	オ[ドリ]カラ。	オ[ドリ]マデ。	オ[ドリ]カラモ。	オ[ドリ]マデモ。
4-3-1-3	港(ミ[ナト])	ミ[ナト]ガ。	ミ[ナト]ニ。	ミ[ナト]カラ。	ミ[ナト]マデ。	ミ[ナト]カラモ。	ミ[ナト]マデモ。
4-3-2-1	女([オンナ])	[オンナ]ガ。	[オンナ]ニ。	[オンナ]カラ。	[オンナ]マデ。	[オンナ]カラモ。	[オンナ]マデモ。
	[ニヨ](一)バ						
4-3-2-2	小豆(ア[ズキ])	ア[ズキ]ガ。	ア[ズキ]ニ。	ア[ズキ]カラ。	ア[ズキ]マデ。	ア[ズキ]カラモ。	ア[ズキ]マデモ。
4-3-4-1	鋏(ハ[サミ])	ハ[サミ]ガ。	ハ[サミ]ニ。	ハ[サミ]カラ。	ハ[サミ]マデ。	ハ[サミ]カラモ。	ハ[サミ]マデモ。
4-3-4-2	鏡(カ[ガミ])	カ[ガミ]ガ。	カ[ガミ]ニ。	カ[ガミ]カラ。	カ[ガミ]マデ。	カ[ガミ]カラモ。	カ[ガミ]マデモ。
4-3-4-3	男(オ[トコ])	オ[トコ]ガ。	オ[トコ]ニ。	オ[トコ]カラ。	オ[トコ]マデ。	オ[トコ]カラモ。	オ[トコ]マデモ。
4-3-5-1	朝日(ア[サ]ヒ)	ア[サ]ヒガ。	ア[サ]ヒニ。	ア[サ]ヒカラ。	ア[サ]ヒマデ。	ア[サ]ヒカラモ。	ア[サ]ヒマデモ。
4-3-5-2	命(イ[ノ]チ)	イ[ノ]チガ。	イ[ノ]チニ。	イ[ノ]チカラ。	イ[ノ]チマデ。	イ[ノ]チカラモ。	イ[ノ]チマデモ。
4-3-5-3	心(コ[コロ])	コ[コロ]ガ。	コ[コロ]ニ。	コ[コロ]カラ。	コ[コロ]マデ。	コ[コロ]カラモ。	コ[コロ]マデモ。
4-3-6-1	兎(ウ[サ]ギ)	ウ[サ]ギガ。	ウ[サ]ギニ。	ウ[サ]ギカラ。	ウ[サ]ギマデ。	ウ[サ]ギカラモ。	ウ[サ]ギマデモ。
4-3-6-2	狐(きつ[ネ])	きつ[ネ]ガ。	きつ[ネ]ニ。	きつ[ネ]カラ。	きつ[ネ]マデ。	きつ[ネ]カラモ。	きつ[ネ]マデモ。
	き[ツネ]	き[ツネ]ガ。	き[ツネ]ニ。				
4-3-6-3	背中(セ[ナカ])	セ[ナカ]ガ。	セ[ナカ]ニ。	セ[ナカ]カラ。	セ[ナカ]マデ。	セ[ナカ]カラモ。	セ[ナカ]マデモ。
4-3-7-1	兜([カ]ブト)	[カ]ブトガ。	[カ]ブトニ。	[カ]ブトカラ。	[カ]ブトマデ。	[カ]ブトカラモ。	[カ]ブトマデモ。
4-3-7-2	莓(イチ[ゴ])	イチ[ゴ]ガ。	イチ[ゴ]ニ。	イチ[ゴ]カラ。	イチ[ゴ]マデ。	イチ[ゴ]カラモ。	イチ[ゴ]マデモ。
4-3-7-3	薬(ク[スリ])	ク[スリ]ガ。	ク[スリ]ニ。	ク[スリ]カラ。	ク[スリ]マデ。	ク[スリ]カラモ。	ク[スリ]マデモ。

(5) 4拍名詞

	単語	～が	～に	～から	～まで	～からも	～までも
5-01	餅米 (もち[ゴメ])	もち[ゴメ]ガ。	もち[ゴメ]ニ。	もち[ゴメ]カラ。	もち[ゴメ]マデ。	もち[ゴメ]カラモ。	もち[ゴメ]マデモ。
5-02	友達 (ト[モダチ])	ト[モダチ]ガ。	ト[モダチ]ニ。	ト[モダチ]カラ。	ト[モダチ]マデ。	ト[モダチ]カラモ。	ト[モダチ]マデモ。
5-03	懐 (フ[トコロ])	フ[トコロ]ガ。	フ[トコロ]ニ。	フ[トコロ]カラ。	フ[トコロ]マデ。	フ[トコロ]カラモ。	フ[トコロ]マデモ。
5-04	唇 (ク[チビル])	ク[チビル]ガ。	ク[チビル]ニ。	ク[チビル]カラ。	ク[チビル]マデ。	ク[チビル]カラモ。	ク[チビル]マデモ。
5-05	川上 (カ[ワカミ])	カ[ワカミ]ガ。	カ[ワカミ]ニ。	カ[ワカミ]カラ。	カ[ワカミ]マデ。	カ[ワカミ]カラモ。	カ[ワカミ]マデモ。
5-06	色紙 (イ[ロガ]ミ)	イ[ロガ]ミガ。	イ[ロガ]ミニ。	イ[ロガ]ミカラ。	イ[ロガ]ミマデ。	イ[ロガ]ミカラモ。	イ[ロガ]ミマデモ。
5-07	雷 (カミ[ナリ])	カミ[ナリ]ガ。	カミ[ナリ]ニ。	カミ[ナリ]カラ。	カミ[ナリ]マデ。	カミ[ナリ]カラモ。	カミ[ナリ]マデモ。
5-08	米櫃 (コ[メビツ])	コ[メビツ]ガ。	コ[メビツ]ニ。	コ[メビツ]カラ。	コ[メビツ]マデ。	コ[メビツ]カラモ。	コ[メビツ]マデモ。
5-09	簪 ([カンザシ])	[カンザシ]ガ。	[カンザシ]ニ。	[カンザシ]カラ。	[カンザシ]マデ。	[カンザシ]カラモ。	[カンザシ]マデモ。
5-10	針金 (ハリ[ガネ])	ハリ[ガネ]ガ。	ハリ[ガネ]ニ。	ハリ[ガネ]カラ。	ハリ[ガネ]マデ。	ハリ[ガネ]カラモ。	ハリ[ガネ]マデモ。
5-11	麦藁 (ムギ[ワラ])	ムギ[ワラ]ガ。	ムギ[ワラ]ニ。	ムギ[ワラ]カラ。	ムギ[ワラ]マデ。	ムギ[ワラ]カラモ。	ムギ[ワラ]マデモ。
5-12	味噌汁 (ミ[ソシ]ル)	ミ[ソシ]ルガ。	ミ[ソシ]ルニ。	ミ[ソシ]ルカラ。	ミ[ソシ]ルマデ。	ミ[ソシ]ルカラモ。	ミ[ソシ]ルマデモ。
5-13	雨降り (ア[メフ]リ)	ア[メフ]リガ。	ア[メフ]リニ。	ア[メフ]リカラ。	ア[メフ]リマデ。	ア[メフ]リカラモ。	ア[メフ]リマデモ。
5-14	前掛け ([マエカケ])	[マエカケ]ガ。	[マエカケ]ニ。	[マエカケ]カラ。	[マエカケ]マデ。	[マエカケ]カラモ。	[マエカケ]マデモ。
5-15	鶯 (ウ[グ]イス)	ウ[グ]イスガ。	ウ[グ]イスニ。	ウ[グ]イスカラ。	ウ[グ]イスマデ。	ウ[グ]イスカラモ。	ウ[グ]イスマデモ。
5-16	撫子 (ナ[デ]シコ)	ナ[デ]シコガ。	ナ[デ]シコニ。	ナ[デ]シコカラ。	ナ[デ]シコマデ。	ナ[デ]シコカラモ。	ナ[デ]シコマデモ。
5-17	風呂敷 (フ[ロシキ])	フ[ロシキ]ガ。	フ[ロシキ]ニ。	フ[ロシキ]カラ。	フ[ロシキ]マデ。	フ[ロシキ]カラモ。	フ[ロシキ]マデモ。

(6) 1 拍名詞

	単語	～が	～に	～から	～まで	～からも	～までも	～の
6-1-1-1	蚊 ([カ])	カ[ガ]。	カ[ニ]。	カ[カラ]。	カ[マデ]。	カ[カラ]モ。 カ[カラ]モ。 [カカラ]モ。	[カマデ]モ。	カ[ノナキ]ゴエ
6-1-1-2	戸 ([ト])	ト[ガ]。	ト[ニ]。	ト[カラ]。	ト[マデ]。	ト[カラ]モ。 [トカラ]モ。	[トマデ]モ。	ト[ノスベリ]
6-1-1-3	血 ([チ])	チ[ガ]。	チ[ニ]。	ち[カラ]。	ち[マデ]。	ち[カラ]モ。 [チカラ]モ。 ち[カラ]モ。	ち[マデ]モ。 [チマデ]モ。	チ[ノ]イ[ロ]
6-1-2-1	葉 ([ハ])	ハ[ガ]。	ハ[ニ]。	ハ[カラ]。	ハ[マデ]。	ハ[カラ]モ。	[ハマデ]モ。	ハ[ノ]イ[ロ]
6-1-2-2	日 ([ヒ])	ヒ[ガ]。	ヒ[ニ]。	ひ[カラ]。	ひ[マデ]。	ひ[カラ]モ。 [ヒカラ]モ。 [ヒ]カラモ。	[ヒマデ]モ。 ひ[マデ]モ。	ヒ[ノヒカリ]
6-1-3-1	手 ([テ])	[テ]ガ。	[テ]ニ。	[テ]カラ。	[テ]マデ。	[テ]カラモ。	[テ]マデモ。	[テ]ノ[ナ]カ
6-1-3-2	目 ([メ])	[メ]ガ。	[メ]ニ。	[メ]カラ。	[メ]マデ。	[メ]カラモ。	[メ]マデモ。	[メ]ノウ[エ]
6-1-3-3	火 ([ヒ])	[ヒ]ガ。	[ヒ]ニ。	[ヒ]カラ。	[ヒ]マデ。	[ヒ]カラモ。 ひ[カ]ラモ。	[ヒ]マデモ。 ひ[マ]デモ。	ひ[ノタマ(一語)]

ここは、カラモ、マデモの箇所にも異質なものも混ざっている可能性がある。

(7) 複合語

	単語		奥村 1981
7-2-5n	春 ([ハ]ル)	ハ[ルヤス]ミ	●○▽
7-2-2n	夏 (ナ[ツ])	ナ[ツヤス]ミ ナ[ツヤス]ミ	○●▽
7-2-1w	金 (カ[ネ])	カ[ネズカ]イ	○●▼
7-2-2w	川 (カ[ワ])	カ[ワギ]シ	○●▼
7-2-3w	塩 (シ[オ])	シ[オア]ジ	○●▽
7-2-4w	種 ([タ]ネ)	タ[ネマ]キ	○●▽
7-2-5w	雨 ([ア]メ)	ア[メフ]リ	○●▽
		ハ[ルマツ]リ	ハル[サメ]
		ナ[ツマツ]リ	ナ[ツクサ]
		カ[ネモ]ケ	カ[ネモチ]
		カ[ワクダ]リ	カ[ワザカナ]
		シ[オカ]ゲン	シ[オケ]
			[シヨーキ]
		タ[ネツ]ケ	タ[ネウマ]
		ア[メア]ガリ	ア[マモ]リ

ここは、カラを付けて語末の核の有無を判定し、核のあるもののみ、語末に「」を付してある。

(8) 2拍名詞 (接続)

	単語	～が	～を	～に	～から
8-2-1w	箱 (ハコ)	ハ[コガア]ル。	ハ[コオ作クツ]タ。	ハ[コニ]入[レ]タ。	ハ[コカラ出]シ[タ]。
8-2-1n	柿 (カキ)	カキ[ガア]ル。	カキ[オ食]ベタ。	カ[キニ] (袋オ) 被[ブセ]タ。	カキ[カラ食]ベタ。
8-2-2w	音 (オト)	オ[トガ聞]コエ[ル]。	オ[トオタ]テタ。	オ[トニ]敏感ダ。	オ[トカラ]覚[ボエ]ル。
8-2-2n	紙 (カミ)	カミ[ガナ]イ。	カミ[オ]破[ブツ]タ。	カ[ミニ書]イタ。	カミ[カラ]捨[テ]タ。
8-2-3w	芋 (イモ)	イ[モ]ガ[ア]ル。	イ[モ]オ作[クツ]タ。	イ[モ]ニ似[チョー]。	イ[モ]カラ (先に) 食[ベ]ル。
8-2-3n	足 (アシ)	アシ[ガ]痛[タ]イ。	アシ[オ] [揉ンダ (アッ[ショ]に近い)	ア[シ]ニ (薬オ) つ[ケ]タ。	アシ[カラ] [揉ンダ]。
8-2-4w	笠 (カサ)	[カ]サガ[ア]ル。	[カ]サオカ[ブツ]タ。	[カ]サニ (飾りを) つ[ケ]タ。	[カ]サカラ作[クツ]タ。
8-2-4n	海 (ウミ)	[ウ]ミガ見[エ]ル。	[ウ]ミオ[見]タ。	[ウ]ミニ行[ツ]タ。	[ウ]ミカラ[吹]イテ[ク]ル。
8-2-5w	雨 (アメ)	[ア]メガ[降]ル。	[ア]メオ降[ラセ]ル。	[ア]メニ濡[レ]タ。	(家オ) [ア]メカラ守[モ]ル。
8-2-5n	蛇 (ヘビ)	[ヘ]ビガオ[ル]。	[ヘ]ビオ捕[カマ]エタ。	[ヘ]ビニき(気) [オ]つ[ケ]ル。	[ヘ]ビカラ逃[ゲ]ル。

(9) 3拍名詞 (接続)

	単語	～が	～を	～に	～から
9-3-1	煙 (ケムリ)	ケ[ムリ]ガ出[タ]。	ケ[ムリオ出]シ[タ]。	ケ[ムリニ]ナツ[タ]。	(家オ) ケ[ムリカラ]守[モ]ル。
9-3-2	女 (オンナ)	[オンナ]ガオ[ル]。	[オンナ]オ[見]タ。	[オンナ]ニ[会ツ]タ。	[オンナ]カラ (先に) 始[メ]タ。
9-3-4	男 (オトコ)	オ[トコ]ガオ[ル]。	オ[トコ]オ[見]タ。	オ[トコ]ニ[会ツ]タ。	オ[トコ]カラ (先に) 始[メ]タ。
9-3-5	心 (ココロ)	コ[コロ]ガ優[サシ]ー。	コ[コロ]オ入[レ]替[エ]ル。	コ[コロ]ニヒ[ビ]ータ。	コ[コロ]カラア[ヤマ]ル。
9-3-6	兎 (ウサギ)	ウ[サ]ギガ居[ル]。	ウ[サ]ギオ[飼ツ]チョー。	ウ[サ]ギニ[エ]サオヤ[ル]。	ウ[サ]ギカラ (先に) ツ[カマ]エタ。
9-3-7	兜 (カブト)	[カ]ブトガ[ア]ル。	[カ]ブトオカ[ブツ]タ。	[カ]ブトニ (飾りを) つ[ケ]タ。	[カ]ブトカラ始[メ]タ。

5. 出雲方言のアクセント 追加語彙資料（2拍名詞4・5類）

類	読み	項目	出雲市アクセント	出雲市注記	雲南市アクセント	雲南市注記	奥出雲町アクセント	安来市アクセント
24	アト	跡[後]	2					
24	アマ	尼	x					
24	アワ	栗	2					
24	イキ	息	2		2			
24	イタ	板	2					
24	イチ	市	2(稀)	一は1	x	エチ[バ3]		
24	イツ	何時	2					
24	イト	糸	2(エ[ト])		2(エ[ト])			
24	イネ	稲	2		2			
24	ウス	臼	2		2(オ[シ])			
24	ウミ	海	2,1					
24	ウリ	瓜	2					
24	オビ	帯	2	オリは言わず	2			
24	カイ	櫛	x					
24	カサ	笠[傘]	2					
24	カス	糟	2		2			
24	カズ	数	2					
24	カタ	肩	2					
24	カド	角	2					
24	カマ	鎌	2					
24	カミ	上	2					
24	キヌ	絹	2		1			
24	キネ	杵	2					
24	キヨー	今日	1					

類	読み	項目	出雲市アクセント	出雲市注記	雲南市アクセント	雲南市注記	奥出雲町アクセント	安来市アクセント
24	キリ	錐	2					
24	クズ	層	2		2			
24	クダ	管	2					
24	ケサ	今朝	1	袈裟は0				
24	ケタ	桁	0					
24	ゲタ	下駄	0					
24	サヤ	鞘	2					
24	シル	汁	1 ([シ]ー)		1 ([シ]ー)			
24	スジ	筋	2					
24	スミ	隅	2					
24	ゼニ	銭	2		2 (ジェ[ニ])			
24	ソト	外	2					
24	ソバ	側	2	蕎麦も2				
24	ソラ	空	2					
24	タネ	種	2					
24	チヂ	父	x					
24	チヂ	乳	2		2			
24	ツエ	杖	[ツェーンバ]	0				
24	ツチ	槌	2					
24	ツバ	鏝	2(稀)					
24	ツブ	粒	0					
24	ツミ	罪	2					
24	トガ	咎	x					
24	ナエ	苗	2					
24	ナカ	中	2					
24	ナニ	何	2	ナン[ガ], ナン[カ]ラ				
24	ヌシ	主	1					

類	読み	項目	出雲市アクセント	出雲市注記	雲南市アクセント	雲南市注記	奥出雲町アクセント	安来市アクセント
24	ノミ	鑿	2	蚤も2	2	蚤も2		
24	ハシ	箸	1					
24	ハダ	肌	2					
24	ハリ	針	2					
24	フネ	舟	2					
24	ベニ	紅	2					
24	ヘラ	篋	2					
24	ホカ	他	2					
24	マツ	松	2					
24	ミソ	味噌	2					
24	ミノ	蓑	2					
24	ムギ	麦	2					
24	ヤド	宿	2					
24	ワナ	罾	2					
24	ワラ	藁	2					
24	ワレ	我	1 ([ワ]ー)	自分の意				
25	アイ	藍	x	藍染め 4				
25	アオ	青	1,2					
25	アカ	赤	1,2					
25	アキ	秋	1					
25	アサ	朝	1					
25	アセ	汗	2					
25	アニ	兄	x	[ア]ンヤ, [ア]ンサン 1				
25	アブ	虻	2					
25	アメ	雨	2					
25	アユ	鮎	1					
25	イド	井戸	2					

類	読み	項目	出雲市アクセント	出雲市注記	雲南市アクセント	雲南市注記	奥出雲町アクセント	安来市アクセント
25	オケ	桶	2					
25	カキ	牡蛎	1					
25	カゲ	蔭	2					
25	キビ	黍	2					
25	クモ	蜘蛛	2					
25	クロ	黒	2					
25	コイ	鯉	1 ([コ]エ)					
25	コエ	声	2					
25	コト	琴	1					
25	サケ	鮭	1					
25	サル	猿	1					
25	シロ	白	2					
25	タテ	縦	2	盾も2				
25	タビ	足袋	2					
25	ツネ	常	x					
25	ツユ	露	1 ([ツ]ー)					
25	ツル	鶴	1					
25	ナベ	鍋	2					
25	ハモ	鱧	2					
25	ハル	春	1					
25	ヒル	蛭	0 ([フール])					
25	フナ	鮒	2					
25	ヘビ	蛇	1					
25	マエ	前	2 (マ[エ])	以前の意も				
25	マド	窓	2					
25	マユ	眉	1 ([め]ー)					
25	マリ	鞆	ブン[デマ]ー 4					
25	ムコ	髯[婿]	2	モコは言わず				

類	読み	項目	出雲市アクセント	出雲市注記	雲南市アクセント	雲南市注記	奥出雲町アクセント	安来市アクセント
25	モモ	股[腿]	2					
21	ウシ	牛	0		0 (オ[シ])			
21	ハイ	灰	0 ([へ]ー)		0 ([ハエ])			
21	ハエ	蠅	0 ([へ]ー)		0 ([ハエ])	[ハエボンボ 0]		
2		棒	0 ([ボ]ー)		0 ([ボ]ー)			
31	コーリ	氷	0 ([コーリ]]])		0 ([コーリ])		0 ([コーリ])	0 ([コーリ])
31	ハジメ	初め	0 (ハジ[メ]]])		0 (ハジ[メ])		0 (ハジ[メ])	0 (ハジ[メ])
31	ミツカ	三日	0 (ミツ[カ]]])		0 (ミツ[カ])		0 (ミツ[カ])	0 (ミツ[カ])
31	ヨツカ	四日	0 (ヨツ[カ]]])		0 (ヨツ[カ])		0 (ヨツ[カ])	
32	ミツツ	三つ	0 (ミツ[ツ]]])		0 (ミツ[ツ])		1 ([ミツ]ツ)	0 ([ミツツ])
32	ムスメ	娘	0 (モす[メ]]])		0 (ムす[メ])		0 (ムす[メ])	0 (ムす[メ])
32	ヨツツ	四つ	0 (ヨツ[ツ]]])	ヨツつ[ガ]]]	0 (ヨツ[ツ])		1 ([ヨツ]ツ)	0 ([ヨツツ])
34	スズリ	硯	0 (ス[ズ]ー)		0 (ス[ズリ])		3 (ス[ズリ])	3 (ス[ズリ])
35	ハシラ	柱	0 (ハシ[ラ]]])		0 (ハシ[ラ])		0 (ハシ[ラ])	0 (ハシ[ラ])
37	クジラ	鯨	3 (クジ[ラ]]])		3 (クジ[ラ])		1 ([ク]ジラ)	0 (クジ[ラ])
3x	ホタル	蛍	0 (ホ[タ]ー)		0 (ホ[タル])		0 (ホ[タル])	0 (ホ[タル])
3	ザシキ	座敷	3 (ザし[キ]]])	ザしき[ガ]]]	3 (ザし[キ])		3 (ザし[キ])	3 (ザし[キ])
3	トーフ	豆腐	3 ([トーフ]]])		3 ([トーフ])		3 ([トーフ])	0 ([トーフ])
3	ヌイメ	縫い目	3 ([ヌイメ]]])		3 ([ヌイメ])		3 ([ヌイメ])	3 ([ヌイメ])
4	カキカタ	書き方	4 (カき[カタ]]])		4 (カき[カタ])		4 (カき[カタ])	0 (カき[カタ])
4	ガッコー	学校	0 (ガッ[コ]ー)		0 (ガッ[コー])		0 (ガッ[コー])	0 (ガッ[コー])
4	カルワザ	軽業	0 (カー[ワザ]]])		0 (カル[ワザ])		0 (カル[ワザ])	0 (カル[ワザ])
4	シャミセン	三味線	3 (シャミ[セ]ン)					
4	センセー	先生	0 ([センセ]ー)		0 ([センセー])		0 ([センセー])	0 ([センセー])

類	読み	項目	出雲市アクセント	出雲市注記	雲南市アクセント	雲南市注記	奥出雲町アクセント	安来市アクセント
4	タノシミ	楽しみ	0		0		0	
4	ツイタチ	一日	0 ([ツイタチ]])		0 ([ツイタチ])		0 ([ツイタチ])	0 ([ツイタチ])
4	フルサト	古里	1 ([フ]ーサト)		1 ([フ]ルサト)		1 ([フ]ルサト)	1 ([フ]ルサト)
4	ホーチョー	包丁	0 ([ホー]ー ー)		0 ([ホー]ー ー)		0 ([ホー]ー ー)	0 ([ホー]ー ー)
4	ヨクバリ	欲張り	4 (ヨく[バ]ー)		3 (ヨク[バ]ー)		3 (ヨく[バ]り)	4 (ヨク[バリ])
4	ヨロコビ	喜び	0		0	動詞が普通	0	
4	ワルクチ	悪口	4 (ワーく[チ]])	ワーくち[ガ]]	4 (ワーく[チ])	ワル[グチ]は0	4 (ワーく[チ])	0 (ワ[ルクチ])